

# 2013 年度通訳案内士試験

## <合格体験記>

### まえがき

本書は、2013 年度通訳案内士試験に見事合格された合格者の皆様からお寄せいただきました<合格体験記>集です。

通訳案内士試験受験者にとっては、学習する上での貴重な<羅針盤>となるものですから、受験準備のスタート時だけではなく、勉強方法に疑問を抱いた時とか、スランプに陥った時など、受験勉強の様々な局面においても、本書を読むことにより、必ず、良き指針を得ることができると確信いたします。

お忙しいところ、後進のために、<合格体験記>を執筆していただきました多くの合格者の皆様に、この場をかりまして、深く感謝申し上げます。

また、2013 年度合格者が多用した「合格者が利用した受験参考資料・サイト」を掲載し、2014 年度受験者の学習の便としました。

本書が、通訳案内士試験合格の一助になれば、これにまさる喜びはございません。

ハロー通訳アカデミー  
植山源一郎

# 目次

合格者が利用した受験参考資料・サイト	2
英語	7
中国語	53
フランス語	63
イタリア語	68
ポルトガル語	71

# <合格者が利用した受験参考資料・サイト>

ここに掲載したテキスト、資料は、**すべて無料ダウンロード**できます！

●2013年度第1次筆記試験問題(既出問題研究は、受験準備のスタートラインです)

日本地理

<http://hello.ac/guide/2013geography.pdf>

日本歴史

<http://hello.ac/guide/2013history.pdf>

一般常識

<http://hello.ac/guide/2013generalknowledge.pdf>

英語

<http://hello.ac/guide/2013english.pdf>

フランス語

<http://hello.ac/guide/2013french.pdf>

スペイン語

<http://hello.ac/guide/2013spanish.pdf>

ドイツ語

<http://hello.ac/guide/2013german.pdf>

ポルトガル語

<http://hello.ac/guide/2013portuguese.pdf>

ロシア語

<http://hello.ac/guide/2013russian.pdf>

韓国語

<http://hello.ac/guide/2013korean.pdf>

中国語(簡体字)

<http://hello.ac/guide/2013simplifiedchinese.pdf>

●2012 年度第1次筆記試験問題(既出問題研究は、受験準備のスタートラインです)

日本地理

<http://hello.ac/guide/2012geography.pdf>

日本歴史

<http://hello.ac/guide/2012history.pdf>

一般常識

<http://hello.ac/guide/2012generalknowledge.pdf>

英語

<http://hello.ac/guide/2012english.pdf>

中国語

<http://hello.ac/guide/2012chinese.pdf>

韓国語

<http://hello.ac/guide/2012korean.pdf>

スペイン語

<http://hello.ac/guide/2012spanish.pdf>

ドイツ語

<http://hello.ac/guide/2012german.pdf>

フランス語

<http://hello.ac/guide/2012french.pdf>

イタリア語

<http://hello.ac/guide/2012italian.pdf>

ポルトガル語

<http://hello.ac/guide/2012portuguese.pdf>

ロシア語

<http://hello.ac/guide/2012russian.pdf>

●通訳案内士試験資料室(1998年度からの既出問題などを掲載)

<http://hello.ac/dataroom/index.php>

●ハロー通訳アカデミー<自習サイト>(自分ですいすい勉強できます)

第1次邦文試験対策<特訓1800題>(日本地理、日本歴史、一般常識)

[http://www.hello.ac/~streaming/clinic/clinic\\_houbun/index.html](http://www.hello.ac/~streaming/clinic/clinic_houbun/index.html)

ハロー英語道場<真剣勝負>(「日本の事象英文説明300選」、「でる単」などの自習ができます)

<http://www.hello.ac/study/>

英語第1次試験対策<英語力診断テスト>(英語力の診断と学習ができます)

<http://www.hello.ac/guide/clinic/index.php>

●英語第1次筆記試験対策<教本シリーズ>テキスト(英語第1次試験対策の最強テキスト)

<教本Aシリーズ>

教本Aの<問題テキスト>

<http://hello.ac/kyouhon2012version/kyouhonQuestion.pdf>

教本Aの<解答テキスト>

<http://hello.ac/kyouhon2012version/kyouhonAnswer.pdf>

教本Aの<授業解説テキスト>

<http://hello.ac/kyouhon2012version/kyouhonLesson.pdf>

<教本Bシリーズ>

教本Bの<問題テキスト>

<http://hello.ac/kyouhonB2012version/kyouhonBQuestion.pdf>

教本Bの<解答テキスト>

<http://hello.ac/kyouhonB2012version/kyouhonBAnswer.pdf>

教本Bの<授業解説テキスト>

<http://hello.ac/kyouhonB2012version/kyouhonBLesson.pdf>

<日本の事象Q&A>

<http://hello.ac/kyouhonB2012version/Q&A2012version.pdf>

講義のDVDご希望の方 → <http://www.hello.ac/materials/books.pdf>

● 第 1 次邦文試験対策<マラソンセミナー>テキスト(日本地理、日本歴史、一般常識の最強テキスト)

● マラソンセミナー「日本地理」(テキスト)

<http://hello.ac/marathon2012version/geographytext.pdf>

● マラソンセミナー「日本歴史」(テキスト)

<http://hello.ac/marathon2012version/historytext.pdf>

● マラソンセミナー「一般常識」(テキスト)

<http://hello.ac/marathon2012version/generalknowledgetext.pdf>

講義の DVD ご希望の方 → <http://www.hello.ac/materials/books.pdf>

● 第 1 次邦文試験対策<最重要事項のまとめ>(合格者全員が必ず勉強します)

<日本地理の最重要事項のまとめ>

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/180b7d46638cb35e7332ae6bbc2f838c>

<日本歴史の最重要事項のまとめ>

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/de13a21eeaaf21a717279ecf2cb08c7f>

<一般常識の最重要事項のまとめ>

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/9dcd51160b7da52b7e98c929af7d60e3>

● 第 1 次邦文試験対策<まとめと対策>シリーズ(門外不出の最強テキストです)

<日本地理のまとめと対策>

<http://hello.ac/matome.geo.pdf>

<日本歴史のまとめと対策>

<http://hello.ac/matome.history.pdf>

<一般常識のまとめと対策>

<http://hello.ac/matome.general.pdf>

● 重要地図帳

<項目別地図帳>

<http://hello.ac/geography/map.pdf>

<都道府県別地図帳>(右に、90 度回転させてご覧ください)

<http://hello.ac/map.prefectures.pdf>

●ハロー通訳アカデミー<第2次ホームページ>(ブログ)のカテゴリー別サイト  
(ほとんど、すべての合格者が、毎日、見ていたブログです)

重要教材、資料の無料ダウンロードコーナー

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/bee220460756338dc856233ed98983ec>

2014年度第1次試験対策(英語)

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/1977a25d1c5cac372c3e0f65e8acefd5>

2014年度第1次試験対策(全外国語)

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/ae7eec6132c7898e61f1fb61e9c7c1d4>

2014年度第1次試験対策(日本地理)

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/025b697722bfd3c99a94f93c8bc9c43c>

2014年度第1次試験対策(日本歴史)

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/13d79dde1595fae3d8f2003077de9946>

2014年度第1次試験対策(一般常識)

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/190e19f3ae043270bab51ed771f8d89d>

2014年度第2次試験対策(全外国語)

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/34a7b98dbef1b7c1c42d58ec0d900686>

## <英語>

### ●7-1[英語／東京都／専門職](メルマガ会員)

#### (1)受験の動機

通訳案内士は、あこがれの資格でしたが、勉強方法がわからず、また、予備校の受講料も高額であり、高嶺の花でした。その後、ハローの閉校というニュースを衝撃をもって聞き、それを契機にハローのメルマガの読者となりました。

そして、一昨年春の鶴の恩返し企画が始まりました。私は、これを天の啓示として、とにかく、全てのありえへん価格の教材を購入し、また、その時点で残っていました、その他のハロー教材も全て購入しました。また、同時に、無料で公開されましたハロー教材を印刷しました。

その結果、机のまわりが、ハロー教材で埋め尽くされたことで、それが大変なプレッシャーとなり、一昨年夏より、ハローを導きの星としての通訳案内士試験の学習が開始されました。

#### (2)第1次試験対策

##### <英語>

ハローの英語A、英語Bを、まずは、各2回繰り返しました。DVDを見るときは、テキストの予習をして、全て回答を出してから望み、復習は音読を繰り返しました。これも、飽きのこない講義なので、集中して聞くことができます。

また、ハローのでる単とCDを全て揃え、とにかく暗記しました。とくに一昨年の1次試験の前は、書き取りを繰り返してスペリングを覚えました。英作文対策は、「日本の事象英文説明 300 選」を書き取り、かつ、暗唱(暗記)しました。1次対策の学習は、日本事象の表現や単語の暗記など、二次対策に直結しておりますので、TOEIC免除組の方々などと、二次で、最大の差がつくところだと思いますので、1次対策をしっかりやることで、2次対策が楽になるところです。

とにかく「300 選」をぼろぼろにするくらい使い倒すことが、その後の自信につながります。私は、どこに行くのでも、「300 選」を携帯し、わずかな時間を惜しんで「300 選」に親しむようにしました。

##### <日本地理>

ハローマラソンセミナーのDVDを3回は繰り返し聞きました。そして、そのテキストをぼろぼろになるまで何度も見直しました。また、ハローのホームページから過去問を得て、通年で何度も繰り返しました。

ハローの<第1次邦文試験対策特訓 1800 題>も、時間のある限り、行いました。マラソンセミナーの地理は観光地理に重点を置いており、昨年、一昨年と、少し傾向が異なる印象を受けるかもしれません。

しかし、まずは、マラソンセミナーのテキスト・地図類を完全に暗記すれば、どんな傾向であっても合格点はとれるはずで、また、観光地理に関する情報(観光地や温泉など)は、二次試験の前提知識としても必須です。なお、地理はハローの教材以外は完全に使いませんでした。

よく推薦される、一般に市販されている豪華な地図帳も、カラフルではありますが、余計な情報が



多すぎ、暗記の妨げになるので、本当に役に立つのか、わかりませんでした。また、旅行会社のパンフレット類も宿屋に関する情報がメインなので、趣味で収集するなら別ですが、試験のためには無駄です。旅に関するテレビ番組も、息抜きならいいですが、試験のための勉強と捉えた場合、時間の無駄です。

#### <日本歴史>

ハローマラソンコースの講義を聞いていると、いやがうえでも好きになります。とても面白い講義です。また、感動もします。試験勉強であることを忘れてしまう位です。

就寝時の子守唄としてもマラソンコースの歴史を聞いており、何度聞いたかは憶えておりません。定番の山川の教科書も一読しましたが、やはり昔ながらに、無味乾燥で、頭に入りません。

どうして、本当は面白いはずの歴史を、ここまで、つまらなく記述できるのか、その技術に逆に感心してしまいました。学生が歴史を嫌い(あるいは無知に)なるはずです。まだ、大学受験用の参考書類のほうが工夫されていて、ためになります。

#### <一般常識>

ハローマラソンコースの講義が面白いし、ためになります。3回くらい繰り返し聞きました。ハローのホームページから過去問を得て、通年で何度も繰り返しました。一般常識の過去問をやるコツは、最新の情報に基づき回答することです。

また、ハローの<特訓 1800 題>も、時間のある限り、行いました。マラソンコースには最新の情報を補充する必要がありますが、それを自分でやることで、より身につきます。また、文化は、二次試験に直結ですので、ここで、伝統文化をまんべんなく学習しておく必要があります。一般常識試験の傾向自体は、つかみやすいのですが、とにかく、その範囲が多いので、邦文科目の中では一番時間がかかるはずで、地理や歴史と異なり、一般常識は、休日にも、図書館で、色々な本(関連する分野)に目を通すと良いかもしれません。

#### (3)第2次試験対策

これはハローの二次セミナーにつきます。1から3まであり、聞くだけで相当の分量です。二次に出されるテーマの全てが網羅されております。

私は、1次試験の終了後、二次セミナーのテキストとCDを、最初から、網羅的に学習して行きました。まずは、テキストの質問を、自分なりに口頭で回答してから、CDを聞きました。CDには、当時の受講生の方々の回答が入っておりますので、めざすべき良き目安となります。

今年のプレゼンも、ほとんど、ハローの二次セミナーで対応可能だったのではないのでしょうか。二次セミナーのCDを聞きながら、自分でも口頭で、回答を言うてみるのが効果的です。とにかくハローの二次セミナーのCD講義は、英語だけでなく、日本事象のあらゆることを学ぶことができますし、発音や文法なども、ネイティブの観点から多くのことが学べます。

また、通訳は、「300 選」が有効です。とくに「300 選」の日本語を見て、すかさず、それを英語で言う訓練が効果的です。

試験当日は、朝から、試験直前の待機時間まで、「300 選」を暗唱しておりました。当日で、「300 選」を頭から最後まで2回転くらいできたでしょうか。「300 選」と言えば、直前に「300 選」のプレゼントが当たり、新品をお送りいただき、気分一新ができました。ありがとうございました。

なお、最後、プレゼン対策としては、植山先生の講習会で、構成方法を伝授いただき、二次セミナーの表現をプレゼン用に組み直しました。

二次試験直前になると、各予備校が模擬面接やセミナーを宣伝しますので、受験生は不安にあおられ、ここで、多くの出費をする人もいるかと思います。しかし、これが経済的に許されない方々も少なくないと思いますが、予備校に行く往復の時間なども考えると、家で、「300選」や二次セミナーテキストで暗記した英文の発話(独り言)や、プレゼンの組立をしているだけでも効果的であり、とにかく、直前期は、家で寝る時、起きた時も、外出する際も、独り言で、全てのテーマを常にしゃべっていれば、充分、実践的ですので、仮に模擬面接代を捻出できなくとも、心配はいりません。とにかく、直前はスポーツと同じように、ひたすらしゃべり続け、英語を肉体化することが大切です。

#### (4)ハローで特に役だったこと

ハローのメルマガは、本当に心の支えとなりました。とくに直前期にはこれを実感いたしました。1日、メルマガが来ないと、心配になるくらいです。とにかく、直前期は、不安な精神状態となりますので、とにかくメルマガの配信がありがたかったです。

また、メルマガでは、通訳案内士制度の直面している現実も教えてもらえますので、真の実力をつけようという動機付けとなり、冷静に学習を進めることができます。

とにかく、ハローと植山先生を信じれば、独学で、十分に、試験を突破することが可能です。

また、今や、ありえへん価格の教材を活用すれば、高額な予備校に通学しているのと同等の環境を作ることができるのです。これは奇跡的なことです。

また、ハローにメールを出しますと、植山先生から直接お返事がいただける機会がありますので、これも精神的な支えとなります。私は、植山先生が開催される講習会には、時間が許す限り出席いたしました。ユーチューブで聞くより、直接、お話しを伺うほうが、何倍も迫力が違いますし、モチベーションの維持に役立ちます。

ハロー中毒と言っても過言ではありませんが、この試験の勉強は精神的に大変つらい面がありますので、ハロー中毒になって丁度良いくらいでしょう。

とにかく、ハローの指導を愚直に信じて、そして、「300選」の暗唱など、与えられた課題を達成することに努めることです。ハローを活用すれば独学で十分に短期合格が可能ですが、これは独学と言うよりも、むしろ、ハローの通信受講生として短期合格が可能である、というべきかもしれませんが。

#### (5)今後の抱負

植山先生のお話のように、真の実力をつけるべく、これから、更に勉強を続けていきたいと考えております。通訳案内士という資格以上に

ハローの教材で養われた基礎力こそが、貴重な財産であり、それをベースとして、これから、本当の訓練を課していかなければならない、と思っております。

また、通訳案内士制度の維持ならびに向上のために、少しでもお役に立つことができれば、とも考えております。これからも、植山先生のメルマガを日課として愛読し、人生の指針としていきたいと考えております。

## ●7-4[英語／岩手県](旧生徒、メルマガ読者)

### (1)受験の動機

昭和30年代に文通していたアメリカのペンフレンドが私に会いに日本に来た時に、当時の通訳案内業の方々と一緒に皇居や金閣寺を見学しました。その時(半世紀以上前の事ですが)、日本人の団体の見学コースと違った所までご案内されて、感激し自分も英語の唯一の国家試験に挑戦してみようと思いました。

### (2)第1次試験対策

昭和37年に、日本交通公社の「旅程」という本を買い求め、日本の名所旧跡を見て回りました。箱根の富士屋ホテルに行ったときは、箱根の富士屋ホテル制作・富士屋ホテルで発行している「We Japanese」という、一枚の和紙を折って、約600ページを糸で結わえた古風な英語の本を購入し、東京の書店では、Mock Joyaの「THINGS JAPANESE」という本を買って、日本の色々な事柄、風習について勉強しました。

次に、過去の試験に出た問題が載っている本を買い求めて過去問を勉強しました。数回の受験後、昭和54年に1次試験合格の通知を頂き、運輸省の建物の8階で9月に2次試験を受けました。その時、九州の宗教について聞かれましたが答えられず、口述試験は不合格。

それからは、ほぼ毎年受験しています。

昭和40～50年代はインターネットもハローもありませんでしたので、自己流で勉強して受験していました。

その後、国家試験の名前が通訳案内士と変わり、試験の形態もだいぶ変わりました。

老齢に入ってから、制限時間内に回答する能力が若い時に比べて数段に落ちてしまったことを自覚しましたので、今年度あたりがそろそろ最後の受験かな、と思いました。そして、昨年度合格していた科目は英語を含めて複数あったのですが、それらを当てにせず、初心に戻り、思い切って午前の外国語(英語)及び午後の日本事象(地理、歴史、一般常識)の全教科を受けました。

### <英語>

昭和40年当初は、法学書院の「通訳案内業試験解答集」、及び「通訳案内業試験模擬問題集」で、勉強しました。それから、研究社の「通訳ガイド試験の徹底的研究」、三修社の「英語通訳ガイド模擬問題集」なども使いました。

何年か前に、1次試験の仙台の会場で休み時間に、なにか開いて勉強している受験生が複数居るのを目にしました。

聞いてみると、それはハローで出版しているものを開いていたことがわかり、試験が終わってから早速、ハローの通信教育を申し込みました。送られてきた教材は沢山ありましたが、それらを使って勉強しました。

ハローの教材では、「教本A」「教本B」「ガイド用語集」が基本です。「日本の事象英文説明300選」は何回も紙に書いて、音読し、暗記につとめました。また、「日本の事象Q&A」もノートに書き写して覚えました。

私の勉強方法は、ハローから送られてきた教材の中から、これは、と思う単語や、事項、出来事、などを単語帳に書き留めて、それをどこでも見てました。単語カードは手のひらにすっぽり入ります

ので、常に持って歩き、どこでも見る事が出来ます。たとえば、散歩のとき、食事の時でも、トイレの中でも、夜布団に入って眠くなるまで、等など。いろいろ述べましたが、実際の一次筆記試験ではいつも時間がなく、尻切れトンボで、満足に答案用紙を埋めることが出来ませんでした。

#### <日本地理>

ハローの「マラソンセミナー」「県別白地図帖」「最重要事項のまとめ」<第1次邦文試験対策特訓1800題>などが役立ちました。

私は「県別白地図帖」にその県の国立、国定公園、山、川、湖や、産物など、重要項目を書き込んで覚えました。

過去の問題として3回以上出た項目も「県別の日本地図ノート」に書き込みました。そしてそれを繰り返し覚えました。

#### <日本歴史>

「マラソンセミナー」、「最重要事項のまとめ」、<特訓1800題>などをていねいに使いました。

歴史年表はハローから送られてきた年表に、自分で付け足したものを作りました。

毎年の過去の試験と解答がハローから送られてきましたので、試験に出た重要な事項を自作の歴史年表に盛り込みました。それはA3判で10枚ほどになりました。

その年表を傍に置いて、過去の問題を繰り返し復習しました。

#### <一般常識>

「ハローマラソンセミナー」「最重要事項まとめ」<特訓1800題>「メルマガの最新情報」などから、役に立ちそうなものはすべて抽出し、コピーしました。

新聞は注意深く読み、前年度にあった重要事項(会議やイベントなど)や、これらと思う事項を拾ってコピーしました。またハローから送られて来るメルマガの最新情報にも目を配りました。

#### (3)第2次試験対策

ハローから送られてきた「通訳案内業国家試験英語第二次試験レポート」、「英語第2次試験対策特訓セミナー」、「二次試験時間帯別問題群と模範解答」、「各年度の重要質問と模範解答例」、などの教材からどんな問題が過去に出たのかを紙に印刷してその回答も自分なりの英文で書いてそれを複数コピーし、家中の各部屋において覚えました。A4判で、100枚ほどになりましたが、それを四六時中見て暗記しました。

受験のため前泊したホテルでは、昼間から部屋に閉じこもり、持参した「予想される問題」のコピーを、ベッドの上と床に広げて最後の最後まで、眺めては声を出して言ってみました。

今年度の明海大学浦安キャンパスでの口述試験の様子：

**【1】**試験官が読んだ日本文は、「祇園祭について」でした。

メモの紙と筆記用具を渡されましたので、素早くひらがなでメモを取りました。8割程度メモルことができたと思います。それを見ながら、英語で通訳して話しました。

【2】私にプレゼンテーションとして与えられた三つのテーマは

(1)侍、(2)年末年始の過ごし方について、(3)お勧めのスキー場、  
で、自分が選択したテーマは、「年末年始の過ごし方について」でした。

私が準備したコピーの中から直接は出ませんでしたが、今まで受けた口述試験問題に比べ、私にとってはあまり難しくはなかったので、蓄積された頭の中にあつたものを引っ張り出して、ほぼ時間いっぱいしゃべることが出来ました。

(4)ハローのメルマガ、教材などで特に役に立ったこと

ハローの教材はすべて役に立ちました。日本事象について書いてある他社の本を数冊買って見て見たのですが、ハローの「300 選」は、コンパクトにまとめてあるので1次2次を通して大変役に立ちました。すばらしいです。

「メルマガの最新情報」も役立ちました。

私は通訳ガイドの試験に長年失敗を重ね、受験の準備を長く続けたおかげで、日本人でありながら普段知らなかった沢山の日本の事がらを教えていただき、覚えられたのは、最大の収穫です。

(5)今後の抱負

岩手県の平泉の通訳ガイドをボランティアでやっていましたが、これからは自己研修に励み、国家資格を生かした活動にも手を広げていきたいと思います。

(6)最後に

今年度の一次の筆記試験の時に、日本語の漢字を度忘れし、当然漢字で書くべき所をひらがなで書きましたし、英語のスペルも度忘れ。また、午後の邦文でも、三科目とも時間が足らず全部読み終わらないうちに終了してしまいました。ですから、一次試験は今年もダメか・・・、とっていました。

私はこの試験を長年受け続けてやっと合格させていただきました。ハローを閉鎖された後も、受験生を見捨てずにほとんど毎日の様に貴重な情報や励ましのメッセージを送り続けてくださいました植山先生に感謝いたします。これらの情報や励ましがなかったら、合格はなかったと思います。本当に有難うございました。

## ●4-8[英語／東京](旧ハロー通信生徒、メルマガ読者)

### (1)受験の動機

学生時代から英語は大好きでしたので通訳案内士という国家資格に以前から興味をもっていました。その頃(約 25 年前)は今と違ってかなり難しかったらしく、自分にとって高根の花という印象でした。英語の資格は学生時代の英検 2 級、30 歳代の時に TOEIC915 点取っていました。

海外で仕事する関係上、現地のパートナーやお客さんを日本へ連れていき工場視察や会社訪問のアテンドをする機会がしばしばあり、外国人の多くは日本に興味はもっているものの、日本の正しい知識をもちあわせていないなあと感じ、自分がそのギャップを埋められる、いわゆる日本との橋渡しの役割を担いたいと感じたので、この資格を真剣に目指すようになりました。

### (2)第 1 次試験対策

#### < 英語 >

はじめの 1～2 年は一次試験過去問題、「ハロー直前講習」、website の「真剣勝負の単語」、「日本の事象英文説明 300 選」、3 年目に通信を申し込みました。「教本 A・教本 B」、「300 選」、「でる単 1, 2」、「用語英訳」を中心に勉強しました。5 年目には最後とばかりに通信のシニアコース申し込みました。

(ご参考) < 2013 年度第 1 次試験問題 > (英語)

<http://hello.ac/guide/2013english.pdf>

< 2012 年度第 1 次試験問題 > (英語)

<http://hello.ac/guide/2012english.pdf>

5 回目の不合格で自分はこの資格には向いていないのかと真剣に悩みました。試験での自分の解答をいつもあまり覚えてなく、答え合わせを疎かにしていましたが、この頃から模範解答との照らし合わせをとことん行うようにしました。

そして長文読解が不合格の原因なのだと気づきました。(気づくのが遅いですが。.)長文読解をなんとかしようと思い、ハローの教材以外に「英語長文問題精講(旺文社)」にて長文 2 文 + ハローの教材から適当な演習英作文 2 問 + 用語英訳 15 問で模擬試験問題を自分で作り制限時間 2 時間で解いていくという練習を始めました。長文問題 4 文を 2 時間で解くということも行いなした。朝 2 時間 + 夜帰宅後答え合わせ + 復習 1～2 時間を 5 月に始め、直前まで一日も欠かさずやり通しました。

制限時間は同じ問題のある程度時間をおいて再度解く回数を増やすごとに短くして実際の試験の様に緊迫感を出すよう工夫しました。同じ問題を 5～7 回はやったと思います。特に気をつけたのは並び替え、空欄埋め、下線部の和訳などで間違えるパターンを見つけ、何度も修正しました。いろいろなタイプの長文に慣れたのがよかったと思います。

また、「300 選」を、週末空いた時間を見つけては完全に書けるまで紙に書いて覚えました。本文と同じ表現でなくても文法ミス、スペルミスがないよう気をつけました。また、スマートフォンに音声を入れて通勤時にシャドーイングをしました。→おかげさまで本試験ではお年玉と風呂敷は目をつぶっても書ける位はしっかり覚えていたのでうれしかったです。

用語については「用語英訳」「メルマガの用語」と自分の日常生活でこれは英語でなんと言うのだろうと思った単語を自分で調べてノートに書いて覚えました。

その他、英作文では自分で作った予想問題として「スカイツリー」「忍者」「マナーモード」「アイドリングストップ」「おまけ」などを簡単に説明できるようノートに書いて覚えました。→「スカイツリー」がドンピシャでした。

英語一次筆記試験は最大の難関でした。2012 年は仕事の都合で受験を断念し 2013 年、マークシート式になってやり易くなったこともあり 7 回目のトライでやっと合格できました。つくづくあきらめなくて良かったと思っています。でも、2014 年から TOEIC テストの 840 点以上も試験免除の対象になるということなので、なんじゃこりやという感じです。

#### < 日本地理 >

「ハローマラソンセミナー」「項目別白地図」「最重要事項のまとめ」< 第 1 次邦文試験対策特訓 1800 題 > など。

国立、国定庭園、山、川、湖などは重点的に覚えました。後は過去問題の繰り返してやりました。地図問題は最近の傾向から高い確率で出ると思ったので見方や記号だけは覚えといてよかったです。

#### < 第 1 次邦文試験対策特訓 1800 題 >

[http://www.hello.ac/streaming/clinic/clinic\\_houbun/index.html](http://www.hello.ac/streaming/clinic/clinic_houbun/index.html)

#### < 日本歴史 >

「ハローマラソンセミナー」「最重要事項のまとめ」< 特訓 1800 題 > など。

ウィキペディアで社寺仏閣、仏像、重要建造物の写真確認(仏像や神社仏閣には興味があるので楽しんでやりました。)鎌倉仏教、江戸 3 大改革、元禄・化政文化、江戸末期日本との通商を試みた外国人たち、明治文学、文化等は毎年のようにでていたので注意しました。歴史年表は自信がありませんでしたので教材を何度も読み、あとは過去問題や練習問題を繰り返しました。

#### < 一般常識 >

「ハローマラソンセミナー」「最重要事項まとめ」< 特訓 1800 題 > 「メルマガの最新情報」など、新聞は毎日読みました。前年度にあった重要事項(オリンピック、サミットなど)またメルマガの最新情報にも目を配りました。

#### (3) 第 2 次試験対策

二次口述試験直前特別セミナー(YouTube)、ハロー二次試験教材「特訓セミナー」CD、「300 選」、

メルマガの情報などを利用しました。

基本的な対策としては「300 選」です。中学生の娘に頼んで試験官になってもらい実践質問形式で練習しました。原文そのままではなく、自分の言いやすい簡単な単語や言い易い言い方に換えて記憶しました。また、あまり最近言わないようなところは、できるだけ自然な言い回しに変えたり、補足説明を加えたりして極力自分の言葉になるよう工夫しました。

また、ハローの二次試験対策「特訓セミナー」CDも繰り返し聞き、自分が質問されてる場面を想像し回答する練習を重ねました。

プレゼン対策では1次試験の合格発表後になって初めて2分間のプレゼンがあることを知ったので焦りましたが、植山先生の「沈黙は絶対避けること、沈黙したら即不合格」というアドバイスを何度も何度も心に刻みました。特に自分は実力もないのに格好つけて上手く話そうとするからぼろが出てフリーズしてしまう癖がある為、このアドバイスは大変有効でした。

そのような状況にもし陥った場合の対処として、早速自分の簡単な経歴やガイドになりたい理由、どんなガイドを目標とするかななどを紙に書いて繰り返し練習しました。これをやった後、心に少し余裕ができました。後は予想問題をウィキペディアで調べ簡単な英文を作り、直前まで繰り返し練習しました。結果的には「日本の事象英文説明 300 選」だけでもしっかり勉強していればできる問題がほとんどでした。

#### (4)ハローのメルマガ、教材などで特に役に立ったこと

ハローの教材はすべて役に立ちました。その中で「300 選」がベストだと思います。範囲が隅々まで行き届いていて、コンパクトにまとめてあるので1次2次を通して大変役に立ちました。すばらしいです。あとメルマガの最新情報や精神的なアドバイスはどれほど役に立ったか計り知れません。

#### (5)今後の抱負

実力の世界なので、相当努力して人に認められないと、常時仕事を与えられないかも知れません。しかし、せっかくとった資格ですので、いろいろ困難はあるでしょうが計画準備してゆくゆくは本格的にガイドの仕事をやりたいと思っています。また、中国語通訳案内士にもチャレンジするつもりです。

#### (6)最後に

試験勉強をはじめた頃は2~3年で合格できると思っていましたが甘かったです。勉強すればするほど自分の未熟さ、無知を痛感しました。何とかやっと合格できましたが自分が求めている英語力にはほど遠いですし日々努力を続けていかなければ錆付いていくだけでしょう。自分はこの試験を通して何回失敗してもあきらめなければ必ず合格できることを学びました。ハローを閉鎖された後も、受験生を見捨てずにほとんど毎日の様に貴重な情報や励ましのメッセージを送り続けてくださいました植山先生に感謝いたします。これらの情報や励ましがなかったら、合格はなかったと思います。本当に有難うございました。



## ●5-9[英語／東京都／フリーランス翻訳者](セミナー生、メルマガ読者)

### (1)受験の動機

昨年春に娘の大学受験が終わり、一段落していたところに、以前から読者登録していたハローのメルマガが目に入り、今度は自分がちょっと難しい試験に挑戦したくなりました。通訳ガイド試験は、20年以上前に英検1級に合格した後にノリでトライしたことが一度ありましたが、日本的事象の対策を全くやらずに臨んだのであえなく玉砕。

その後はすっかり諦めていましたが、英検1級取得者が一次の英語を免除されるようになったということは知っていたので、社会3科目ならとりあえずは大丈夫かとも思い、願書締め切りギリギリに受験を決意しました。

それから、私は地域育成会のような組織で研修部員として日帰りバスツアーを企画催行する係をしています。ここ数年、旧岩崎邸、青梅市内、葛飾柴又と立て続けに自分の企画が採用されましたが参加した方々に喜ばれることに大変やりがいを感じております。自分の得意な英語を活かして、外国の方々に日本の良さを知ってもらうことができれば、さらに大きな喜びとなるのではないかと考えたのも動機となりました。

### (2)第1次試験対策

<英語>

(免除)

<日本地理>

「自然公園への招待」(国立公園協会)同協会のサイトから購入。中学生の頃から日本地理は得意でしたので、新たに読んだ本はこれだけです。

<第1次邦文試験対策特訓1800題>(ハローのサイト)

ここで間違った問題、当てずっぽうでたまたま正解だった問題は必ず「旅に出たくなる地図・日本」(帝国書院)で場所を確認しました。

<日本歴史>

「超速!日本史の流れ」「超速!日本史文化史の流れ」(竹内 睦泰・ブックマン社)娘の山川の教科書を借りて読んでみましたが、どうも頭に入ってきませんでした。一方、上記2冊は大変読みやすく、一次試験まで2か月という時間の制約の中でもどうにか流れはつかむことができました。

「詳説日本史図録」(山川出版社)写真問題対策として。この豪華さで1000円しないのですからお得です。

<第1次邦文試験対策特訓1800題>(ハローのサイト)その他、図書館で仏像、美術関連の本を

借りまくって時間があるときに眺めていました。

<一般常識>

<特訓 1800 題> (ハローのサイト)

植山先生のメルマガ「一般常識・直前のまとめ」を読みました。一般常識は、普段から TV をつけっぱなしにしてニュースや情報番組を見ているので<特訓 1800 題>と過去問以外は特に何かをしたわけではありません。

<勉強方法について>

受験を決意してから筆記試験までの数か月は、本業の翻訳の仕事をかなり減らして勉強に割きました。

概ね、地理:歴史:常識=2:7:1 の配分です。直前には平成 17 年から 24 年度まで 6 年間の過去問を一周しましたが、60 点を下回ったのが地理と歴史でそれぞれ一回だけだったので自信をもって試験に臨むことができました。

(3)第 2 次試験対策

「日本の事象英文説明 300 選」(ハロー)、「英語で説明する日本の文化・必須表現グループ 100」(語研)、「シンプルな英語で日本を紹介する」(ベレ出版)

家事や犬の散歩のときに、上記の音声教材を聴きながらたまにシャドウイングをやりました。

翻訳業ですので英語を書くことには慣れていますが、話すことからしばらく遠ざかっていました。そこで地元の無料で参加できる英語を話す会に参加し、まず人前で英語を話す機会を増やすことに努めました。

今回の試験から導入される「通訳問題」は、リテンション(記憶保持)やメモ取りがどうしてもできそうにないので、それに特化した講座を 2 回受講しました。植山先生も強調されていたことですが、ベテランの通訳であるその講座の先生も「6 割できればよしと考えて」と言っていました。

上記「英語で説明する日本の文化・必須表現グループ 100」の文は、手頃な長さで王道的な文が多いので、日本語の文を見て即座に英語に訳してみる作業を繰り返しました。

私の周りにはガイド予備校の模擬面接講座に参加された人が多かったのですが、私は自分の性格上、他の受講生の英語ペラペラ度を見て一気に不安になる事態が容易に想像できたので、はなから参加しようとは思いませんでした。正解だったと思います。

(4)ハローのメルマガ、教材などで特に役に立ったこと

やはり何と言っても「<特訓 1800 題>

[http://www.hello.ac/streaming/clinic/clinic\\_houbun/index.html](http://www.hello.ac/streaming/clinic/clinic_houbun/index.html)

クイズ感覚で楽しい。これから受験する人皆さんにお勧めしたいです。

そして「日本の事象英文説明 300 選」ですね。植山先生からプレゼントされたものです。ありがとうございます！

口述試験のスピーチで「浮世絵について」をテーマとして選びましたが特に意識しなくても口をついて出てきたのが「300 選」の浮世絵の説明文でした。暗記作業は時間がなかったので省略しましたが、繰り返し聞いているだけでも記憶に残っているものですね。

#### (5)今後の抱負

今はまだ翻訳を中心とした仕事を続ける予定ですが、年齢的に徹夜が辛くなってきたので、徐々に通訳ガイドとしての経験を(はじめは見習いやボランティアとして)積んで将来的には日本中どこでも長期でも行けるような通訳ガイドを目指しています。

私は産業翻訳者ですので、今後はリテンションやメモ取りの技術を向上させて将来は工場視察の同行通訳ができればという望みがあります。

そのため通訳技術の講座に通い、自宅でも自主的に勉強を続けます。また、邦文試験は永久ライセンスですから、それを活かしてもう一カ国語の資格を取得したいと目論んでいます。それは東京オリンピックまでの長期戦覚悟です。

## ●(3-1)[英語／東京](メルマガ、DVD(英語 1 次/2 次、地理、歴史、一般常識))

### (1)受験の動機

今回は受験 2 年目。定年を迎える 2012 年の数ヶ月前に、第二の人生で何をやろうかと考え始めていた時、ある雑誌で通訳案内士のことを知った。それまでの会社の仕事とは全く違うことをやったほうが面白そうと思ったこと、若い頃の海外生活の経験を生かせると思ったこと、外国人と話すことが好きなこと、自分自身があまりにも日本の文化のことを知らなすぎるので、そういうことを学んだり見学したりすることを楽しみたいと思い始めたこと、などが理由。

### (2)第 1 次試験対策

一次試験は、初めて受験した昨年度は英語以外の邦文はすべて合格。

#### < 英語 >

昨年、2012 度の試験結果は惨敗！特に 15 個の日本語単語の英訳は 3、4 個しかできなかったと思う。もうこの時点でほとんど諦めの境地。まだまだ長文読解と単語語彙の能力不足を痛感。テスト前には、まさか 4 教科のうち英語だけ落ちるとは想定外。

事前には主に邦文科目に時間を使ったので、英語のハローテキスト教材 A、B の DVD は時間不足ということもあり、教材 A のほんの一部しかできなかったから当然の結果といえは当然であった。

昨年度の結果に基づき、英語については長期戦になるだろうと想定し、その基礎力をつけるべく英検も同時にめざそうと決意。が、とてもいきなり一級はむりと思い、まずは準一級から着手することにするも、2012.10 月、2013.6 月はともに長文読解とヒアリングでつづけて失敗し、案内士試験の前に英検準 1 取得の夢ははかなく散る。

そこで、本番試験前 2 ヶ月間はハローテキストと DVD に集中することにした。しかし、今回も時間不足もあり教材 A、B の 6 割程度しかできなかったが、DVD も含めて自分としてはかなり中身の濃い学習ができ、長文読解のコツをつかんだ気がした。また、15 個の英単語訳はこれだけでも占める点数が多いため、この準備にもある程度時間を注いだ。

今年度の英語一次は、前述の英単語訳は選択式になったこと、長文問題文もかなり短くなったことで、敷居が大幅に下がったと感じた。15 個の英単語訳は勉強したこともありとても簡単であった。これについては、ほとんどの人が全問正解となったのではないだろうか。また、長文読解の難易度も下がったこともあり、(事前の準備も昨年度よりできたことも相まって)マークシート方式は一問間違えたのみ。

記述式の和訳、英訳についても、ハローの「日本的事象英文説明 300 選」をひとつお見しておいたので、難度は高いとは感じなかった。ただやはり自分の英訳の表現力の乏しさは否めなく、果たしてこの記述式で半分以上の点数を確保できたかどうかは不安であった。英作文の練習はあまりしつかりやっていたことは反省点になる。

英語はその難度が下がったため、自分の試験のできは昨年に比べ格段に上がったものの、平均点が昨年に比べ 15-20 点は上がったろうと感じていたため、合格最低点もきつと切り上げられるかもしれないと思い、結果発表まで合格できるかどうかは疑心暗鬼であった。

#### < 日本地理 >

地理は、学校時代から得意な方であったため、試験準備は比較的に楽に臨んだ。ただ、そうは言っても半世紀も前の日本の各地の地理や文化などは今ではかなり変わってしまっているので、そこはハローの教材にほとんどおんぶにだっこだった。すべてのことが簡潔にまとめられているため、これをやるだけで充分だと思った。

#### < 日本歴史 >

歴史は、一般常識程度は多少の記憶はあるが、明治維新以降はほとんど自信なし。ただ、殆どは将軍時代が中心に出題されると決め、これもハローのテキストと DVD で勉強。テキストは非常によくまとまっておりこれだけをやれば充分と自分に言い聞かせた。また、マラソンセミナー (DVD) の歴史の講師の先生が非常に面白く、結構鮮烈に記憶に残った。

#### < 一般常識 >

一般常識は、なにを勉強して良いか全く分からないため、これもハローのテキストだけに絞った。邦文 3 科目の中では、この科目が一番テキストのお世話になった。ほとんど自分の知らないことが多く、とてもテストに役立ったし、それ以前に自分自身の一般常識の勉強になった。ただし、一次試験ではあまりにもできず(自己採点 55 点?) 不合格を想定していた。やはり甘かったかとかかなり落ち込んだが、結果は合格ということでまた元気がでてきた。

#### (3) 第 2 次試験対策

これはハローDVD の 2 次試験対策を実施した。ただし、全体の 3 割ぐらいしかできなかった。全部の DVD をやったとしたら、とっっても多くの時間がかかったであろう。しかし、各講座が非常に濃い内容であるので、本番の雰囲気をも充分につかめたと思う。

DVD は 3 割しか出来なかったが、「日本の事象英文説明 300 選」をひととおりやったのでほぼ全部の想定問題をカバーできると信じることにした。あと、直前の植山先生のメルマガでの想定問題情報は非常にためになったし、自分を安心させてくれた。他に某セミナースクールに本番シミュレーションのためのクラスを受けたが、内容的にはあまり役立ったとは思わなかった。ただし、場の雰囲気になれることや受け答えの仕方、態度での注意事項を体得できたことは大きかった。

あと先生の教えの、受け答えに窮しても沈黙してはだめ、とにかく何でもしゃべること、なにも答えられなかったら Aside from ... で話題を変えてでもしがみつこうように、さらにできるだけ観光に話を持っていくように、ということをお頭に叩き込んで臨んだ。

さすがに Aside from を切り出すような厳しい出題や質問は来なかったが、その他の教えは本当に役立ちました。しかし、その Aside from を切り出すことなどを本番の待ち時間などで思い出したりし

ていると、自然に思い出し笑いで気分的にはリラックスしてとても良かった。

#### (4)ハローのメルマガ、教材などで特に役に立ったこと

ここまで書いてきたように、すべての教科ともハローの教材(テキスト、DVD)とメルマガはとても強力で、これらだけを本当にしっかりやれば充分であると思う。そして、特に本番直前では最重要項目(一次試験)とメルマガでの想定問題まとめ(二次試験)は、直前の学習に実に有効で気持ちに安心を与えてくれる。

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/bee220460756338dc856233ed98983ec>

#### (5)今後の抱負

今後は、案内士の団体に登録し、新人研修や各種セミナーなどを積極的に受けて実践を勉強しながら、プロへの道に進む決意である。自分が理系であることから、その特質をより生かされるガイドの仕方を身に付けられればと思う所存である。

●(1-11)[英語／福岡]((メルマガ読者、植山先生への感謝の言葉が見つからない者です！))

(1)受験の動機

仕事の中で海外(欧米)のエンジニアと話をすることは日常的にあり、仕事については問題なく英語でコミュニケーションできるのですが、仕事を離れた日本の文化のことを聞かれると、途端にコミュニケーションできなくなる自分がいました。これはひとえに、英語以前に日本文化について正しい知識がないことが原因でした。

もともと旅行好きであり、旅行をしながら英語を使って人の役に立てることをライフワークにしたいとも思っていたので、昨年、一念発起し、通訳案内士の試験に挑戦することにしました。

(2)第1次試験対策

<英語>

ハローの教材「教本A」「教本B」「ガイド用語集」を4周やりました！

英作文とガイド用語集はすべてExcelにまとめ直し、正解できないものをどんどん絞り込んでいき、正解できるようになるまで繰り返しました。

「日本の事象英文説明300選」は最も重宝した教材の1つです。通勤時のシャドーイング教材として、半年間、片道1時間の通勤時間中に使い続けましたし、会社の昼休みにも、使用し通勤中にウル覚えのものについて、音読し暗記につとめました。

英作文の補助教材としては、“減点されない英作文:川村一誠著”と“部分点狙いの和文英作、自由英作文:伊藤慶典著”をハロー教材に取り組む前に使用した。英作文のコツをつかむには役立ったと思います。

<日本歴史>

「マラソンセミナー 日本歴史 DVD 講座」を4周やりました。「山川詳説日本史図録」はマラソンセミナーのDVD講座を聞く際に、補助教材として常に開いておき関連する項目について内容を確認していきました。日本歴史は、苦手分野であったため、音声のみをiPhoneにとりこみ通勤中にも繰り返し聞いていました。

また、「超速日本史の流れ(竹内 睦泰)」も重宝しました。文化史は流れがつかみにくくいという印象があったので別のノートにまとめ直し、別に覚えるようにしました。この教材は読み物としても面白く読めるので、興味を持って取り組みました。

<日本地理>

「マラソンセミナー 日本地理 DVD 講座」を3周やりました。

また、「ハローの項目別地図帳」となるほど地図帳2013:昭文社”をDVD講座を聞くときには常に開いておき、位置を確認したり地図帳に追記したりするようにしました。この項目別地図帳は、非常に重宝し試験の直前まで手放せませんでした。

<項目別地図帳>

<http://hello.ac/geography/map.pdf>

### <一般常識>

「マラソンセミナー 一般常識 DVD 講座」を3周やりました。一般常識はそれしかやっていません。

### <勉強方法について>

勉強は、毎日欠かさず、自宅で入社前の早朝に2時間、帰宅後1時間、週末は4時間くらい集中して勉強しました。2012年10月に勉強を始めましたが、最初の5か月間は英語のみに集中的に取り組みました。2013年3月から、英語と、日本歴史、地理、一般常識の勉強時間の割合を半々にしました。

また、昼休みにハローの邦文試験自習ウェブサイト<第1次邦文試験対策特訓1800題>を必ず1周やり、間違えた問題をExcelにまとめ直し、そのみを集中的に覚えました。最後には、<特訓1800題>をいつやっても、90点以上はとれるようになりました。1800題を4周はしたと思います。

また、BSで旅行の番組があるときは、極力、見るようにし、これまで行ったことのない国立公園、温泉、山、寺社などの知識と情景を頭に焼き付けるようにしました。

### (3)第2次試験対策

・英語第2次試験対策「特訓セミナー(1)(2)(3)」を使いました。

1次試験終了後に上記テキスト3冊を購入し、プレゼンテーションについては歴史、地理、一般常識、それぞれ10のテーマ(合計30)に絞り込み、この30項目について2分間でかつ、自分が発音しやすい語彙で構成するプレゼンテーション作成しました。

・英語第2次試験対策「特訓セミナー(1)」(書籍)

<http://hello.ac/tokkunseminartext/tokkunseminartext1.pdf>

・英語第2次試験対策「特訓セミナー(2)」(書籍)

<http://hello.ac/tokkunseminartext/tokkunseminartext2.pdf>

・英語第2次試験対策「特訓セミナー(3)」(書籍)

<http://hello.ac/tokkunseminartext/tokkunseminartext3.pdf>

まずは、特訓セミナー教材をベースに作成し、話してみても、削ったり、表現を変えたりして話しやすいように変えていきました。そして、この30項目のプレゼンテーションを、よどみなく話せるように、毎朝、30項目×2分間を時間計測しながら、30日間繰り返しました。

おかげで、本番の2次試験のプレゼンパートについては、ほぼ練習通り話をすることができました。時間もぴったり2分で話せました。

また、通訳パートについては、特訓セミナーの日本語をiPhoneのボイスレコーダーに録音しその日本語を聞いた直後に英語に訳すという、訓練を繰り返し行いました。これは、通勤途上でも行いました。但し、ここについては、練習不足がたたって、本番では力が発揮できませんでした。通訳



練習については、これからも継続してやる必要があると思っています。

また、仕事で国内出張がある場合には、可能な限り、週末を挟むように設定し、出張先の近隣の観光地を必ず訪問するようにしました。

#### (4)ハローのメルマガ、教材などで特に役に立ったこと

植山先生なくして、通訳案内士試験に合格することは絶対にありえなかったということを断言できます。これだけの教材をありえへん価格で提供していただただけでなく、さらに試験直前には最重要事項のまとめを何度も配信される心配りは、驚きと感謝以外の何物でもありません。

今回、試験に合格したとはいえ、ようやくプロの世界の入り口に立ったにすぎません。これから、本当の実力をつけていきようやくプロになれるのだと思っています。

#### (5)今後の抱負

通訳案内士の市場価値の低下が取りざたされていますが、今後は、通訳案内士の名に恥じることなく、外国人のお客様に最高のおもてなしの心を持って、日本文化を楽しく正しく伝えていき、日本にまた来たいと思ってもらえるよう、微力ながら尽力していきたいと思えます。

最後に、植山先生には、本当に感謝の言葉が見つかりませんが、これからも、お体を大切にご活躍されることをお祈りしています。本当にお世話になり、ありがとうございました。

## ●5-1[英語／福岡](メルマガ読者)

### (1)受験の動機

元々、英語の学習が趣味のようなものだったのですが、ひょんなことから NHK の教育番組のトラッドジャパンを見る機会を持ちました。その番組を見ていくうちに、いかに日本のことを説明するための英語を知らないかという事実に気づかされました。

また、自分の国の事を世界的な言語である英語で表現するという事への憧れを強く抱くことになりました。実際に海外へ行かれている方達の体験談などにも自国のことを雑談などで聞かれてうまく説明できずに困ってしまったなんて話も聞くのでこの資格はすごく魅力的だなと思いました。

### (2)第 1 次試験対策

#### < 英語 >

前年度に試験を受けた際に、この試験は語彙力がかなり必要だなという印象を受けました。結果としてマークシートになり、難易度は下がった気がしましたが、日本の様々な物事について英語でそれがすぐ浮かぶようにするほうがいいかなと今も思います。

資料としては、ハローのブログに更新される英単語を欠かさず拝見させてもらいました。非常に役立つラインナップでしたので本番も助かりました。

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970>

また他の参考書としては、[発信型英語 10000 語レベルスーパーボキャブラリービルディング]という単語帳で日本事象と日用品の項目を重点的に暗記しました。また上記の NHK 番組は日本の文化についてそれぞれ 3 分ほどの英語でのイントロダクションムービーのようなものが 100 項目ほど取り上げられていたのでそれを見ながら、英語で日本のことを表現する際に応用できそうな表現をピックアップして覚えました。

#### < 日本地理 >

地理に関しては中学校以来の勉強となり一番苦手意識がありました。過去問の内容から有名な観光名所や重伝建といった場所を名前だけでなく視覚的に認識できる必要があると思いました。私はそこに関しては、wikipedia さんから情報を得ました。ほとんどの有名な場所は写真つきだったので大変助かりました。

それから、ここ数年は地形図の配点が多いというのも分かっていたので地図記号や地図の見方はきちんと学び直しました。また地形図はそれほど大都市ではなく、中堅どころかちょっとマイナーな都市の物がでるようなイメージがありましたので、都市名や幹線道路は少し幅を広げて日本中のものを覚えるように努力しました。ここでもハローのブログに毎日更新された対策情報は、復習して定着させるのに大変役立ちました。

#### < 日本歴史 >

日本史に関しても中学高以来の勉強でしたので、とりあえず全体的に総復習をしました。日本史も、美術品や建造物は視覚的にしっかり覚える必要があったのでまた Wikipedia さんにお世話になり

ました。名前と写真だけでなく、それがどこにあるのかということも重要だと感じていましたのでその3点を意識して覚えていきました。過去問とwikiでの情報を詰め込んだ後に、ハローのブログを発見した際には見落としていた穴がたくさん見付き、大変救われました。

#### <一般常識>

一般常識の勉強は正直どこから手を付けていいのかという感じでした。過去問から手を付けましたが、正直的を絞るのが一番難しく、情報を得るのも大変でした。ハローのブログを発見できていなければと思うとちょっとぞっとするところです。試験を2度受けた感想としては、やはり受験年度の前年に起きた大き目の社会的な変化に関してはしっかり内容を掘り下げて覚えておいた方がいいかなと感じました。

#### (3)第2次試験対策

こちらのHPから過去に出題されたテーマや予想などの情報を入手させていただきました。私の教材はそれらの情報とネット上で発見できた過去の受験者さんたちの体験談でした。今年から試験の内容が変更されていましたから、植山先生が予想された出題されそうなテーマの一覧は大変貴重でした。本番を想定してそれらのテーマについて自分の言葉で制限時間内に説明する練習をしました。私はこの練習の時にはボイスレコーダーを使いました。時間も計れますし、自分の発音も後で確認できるのでよかったですかなと思います。

その後、自分の作ったプレゼンの内容を聞いた面接官が、どんな質問をしてくるかを予想してそれに対する回答をまた考えました。プレゼンの前の英訳の問題に関しては、正直日頃から一次試験にでるような内容を英語ですぐ表現できるようになるしかないのかなと感じました。

ですので、ある意味腹をくくって、一次試験で活用した情報をまとめたものに時間があるときに目を通しては英訳してみるということ繰り返し行うことに終始しました。

#### (4)ハローで特に役に立ったこと

ハローのブログを知ることができたのが一次試験の一か月ほど前だったため、それまでに覚えた内容の確認をするために利用させていただきました。特に一般常識や日本史に関しては資料が不足していたところがあり、こちらで新しい情報をたくさん得ることが出来非常に助かりました。このサイトに巡り合えていなかったら合格していなかったのではないかと感じております。

2次試験は上記に申しました通り、ほとんどの資料をハローのブログからいただきました。このサイトがなかったらと思うとかなりぞっとするのが本音です。独学者にとってこのサイトは本当に貴重でありがたいものだと思います。また、対策情報といっしょに記載されていた過去の偉人の方々の名言には毎日のように励まされました。どれも本当に重みがありました。

#### (5)今後の抱負

合格できたことを大変うれしく思っている一方で、自分の力量不足もまた強く感じております。今すぐに通訳案内士の業務を行うことはちょっと想像できないという思いです。ですが、仕事としてではなくとも、どこかで海外の方々と話す機会があれば日本

はいいところだなと思ってもらえるような雑談を披露出来たらなと思っています。またそのためには日々スキルアップしていかなければと思っています。

最後に、試験対策はもちろんのことですが、先生の陽気なキャラクターには毎度大変元気づけられました。まだまだ寒い日が続きそうですが、どうぞご自愛ください。

## ●5-2[英語／和歌山／自由業](旧生徒)

### (1)受験の動機

アメリカ合衆国への留学を通じて外国の習慣や文化にたいへん興味を持つようになりました。また、現地での生活を通して留学中の外国人だけでなく、人々の暮らし方やものの考え方を知ることができたことやカナダやオーストラリア、インドなど海外旅行から学んだことも多かったことなど、それらが何の違和感もなく受け入れることができ、むしろ異文化間の違いを楽しむことができたことが、国際交流に意義を見出した大きな理由です。

給与のよい大手学習塾を退職してまで新しい生き方に出たのは、もともと英語が好きだったからではありませんが、自分の方法で時間や人そして町、自然といったものをプロデュースできる通訳ガイドのような職業を手に入れようと思っていたからです。

そして、帰国後、外国文学専攻の大学教授の先生と知遇をえて、いろいろ話をしているうちに、異国で人や文化を学ぶ中で外国の人と直に触れ合ったから、今度は日本の文化を、日本の国の良さを伝えていきたいと考え、通訳案内士試験を目指すことになりました。

そんな時、ご縁があって、ハロー通訳アカデミーの門をたたくことになりました。そして今回、はれて合格の栄冠を勝ち取ることができたのです。合格までは決して平坦な道ではなかったのですが、ハローの授業はととても親切丁寧でおまけに学習の楽しさまで与えてくれました。

これからも通訳のための技術に一層磨きをかけなければなりません、基本はハロー教材とっておりますのでいつも傍らにおき、知識の穴を埋めていこうと思っています。

### (2) 第一次試験対策

#### <英語>

ハローの教材なくして、ハローの私を指導してくれた先生の授業なくして今回の合格はなかったと思いますのでとても感謝しています。

私は通信で受講しましたが、印象は、こんな丁寧な解説を、私の英語人生の中でしてもらったことがなかった、ということでした。(私のこれまでものお世話になった先生ごめんなさい。ですが本当にそう思ったのです。) 英語というものを扱うとき、最も大事なことは文の構造を理解できるかということにつきると思っていますが、高校までの一般教育のなかで解説されることのなかった項目があり、ハローでは、文法解析という形でそれが行われました。

少なくとも、50 個程度の項目は新しく身につけることができたと思います。アメリカに滞在していて現地の新聞等を読んでいてもどうしても解釈できないという文の構造がありましたが、新しく教わったことを利用すると難なく読み取ることができます。

文の構造が取れないということは、会話である場合、意味がわからないということですから、大変なことになることもあります。おかげで英語の実力も向上し、模試を受けても上位者に名を連ねていました。

しかし、私がもうひとつ力をつけることができず、合格まで時間がかかったかを考えると、もちろん難関試験であるということとは別にこの試験は客観問題が出題される一方で、解答者の英語運用力が記述という形式で試されかつ、自分の言葉を使つての表現力の質を吟味されるところのウェイトが高いという事実を深く考えずに勉強していたということです。

つまりはきちんとした英作技術が必要であり、それは教本 AB が最重要教材であることは当然のこととして、辞書の語法や例文を細かなところまで見ておかなければ、減点の多い英作になるということです。ひいては解釈問題で間違えることもありうるということです。

私はそれに気づき、ここ最近から、やっとな語法の詳しい辞書を使用しています。気づくのが早かったらもう少し合格も早かったかもしれません。プラス「日本の事象英文説明 300 選」を完全暗記するように常に心がけておくことです。

もうひとつ、モチベーションをあげるためにも、力をつけるためにも NHK のニュースで英会話の番組はとてもいいと思います。NET とも連動した英作コーナーがあり、題材も各回ホットな出来事を取り上げ、出演されている方々もすばらしいキャラクターをお持ちで、番組を見終わった後は何か達成感のようなものを味わえるのです。

< 日本地理 > < 日本歴史 > < 一般常識 >

ハローの教材は、地理・歴史どれをとっても優れていると思います。

私の場合、英語に合格点がしばらくの間いただけませんでしたので、何度か受験しています。受験したすべての年度において高得点で合格しております。というのは、私はそれらを職業としていたからです。

中学受験の日能研に社会科の専任講師(正職員)として在籍していたので、ありとあらゆる問題はといてきましたので難なく合格点がいただけました。私立中学入試の資料や問題集がもしお手元にあるのなら、それはお勧め教材です。多分公立の学校教材よりかはガイド受験者にとって実力養成になると思います。

それは、中学受験社会は大学受験社会ほど学術的ではないにせよ、生活に関連する身近な視点から幅広く、時には雑学的にとらえてあるので日常の生活に深く関連してあるのです。同様に、またはそれ以上にハロー教材はわかりやすく、覚えやすいように形式をよく考えて設問構成がつけられていますので超おすすめです。

また旅行地理や旅行者向けの歴史項目もあるので実践的で面白いです。地理・歴史の得意な人は、ガイド試験の地理免除のための国家資格の旅行取扱管理者の資格をとるのもひとつの手だと思います。当日の試験を受けなくてもよいのでプレッシャーは軽減されるだけでなく、永久免除で

す。私は地理歴史が得意であったのであわせて20日ほど勉強しただけで合格しました。もっとも旅行関連法規や列車の切符を購入するためなどの旅行業者が扱う算数のような問題も勉強しなければなりません。3冊ほどの本をしっかりと仕上げ合格しました。

一方、一般常識ですが、これは私にとって最も厄介な科目でした。ハローで手にした過去問題をこれまでの分全てを見渡しますと年々傾向が変わっているように感じます。メルマガで得る知識は絶対必要だと思います。そのほかの必須の知識としては、結構タイムリーなことがここ最近ではでているようなので新聞・テレビの情報は見逃さぬようにし、一方ではそういった時事問題のデータや資料などをまとめてわかりやすく説明してくれている本があります。私はそれをポケットサイズの本で3冊、仕上げました。

### (3) 第2次対策について

昨年度より、面接の形式が変わりました。このことに対応するため、植山先生が尽力された対策講座をYouTubeにて習得できたことはとても有益でした。大変ありがとうございました。

試験に対する考え方や試験を受けている現場での心理的な駆け引き等、なかなか他では教わることができないことでした。

1次試験に合格できるとは思っていませんでしたので、2次試験に的を絞った勉強は特にしていませんでしたので、試験日まで時間的なゆとりがなく、とても焦りました。

しかし、この講座でいろんな不安を払拭できただけでなく、答えの作り方のようなものを学びました。試験の前の1か月の間に使ったものは「300選」、配信された予想問題60、文法の確認の意味も込めて教本AB、それに結構いいなと思ったのが日本的事象のQ&A(これには視点が書かれている)などです。

紙に書いたり、音声を自分の声で録音したり、肉付けするようなやさしい英文を読んだり、独学でもいろんなことをしました。ハローでは英会話コースも取っていましたので多くのことがよみがえってきました。ショーンホワイト先生だったと思います。どうもありがとうございました。また、一方では試験の直前に通訳協会で開催されていた面接授業を見つけ、一回だけ受講させてもらいました。多くの人の力をかりてゴールすることができました。

本番試験は日本語で伝えられたことを通訳することから始まり、プレゼン、そしてそのことに関しての質疑応答の順で終了しました。実際のガイディングで必要になってくるような技術を試す試験であると思いました。ふりかえってみると、十分な仕上がり具合とは私自身、いえなかったとおりますので、これからも、もっともっと本番試験の形式で技術を磨き、お客様のよき思い出づくりができるように成長しようと思っています。

### (4)ハローについて

私にとってハローは最高の教育機関であり、伝説の教育機関です。これほど教材や講義内容にひきつけられ、熱を入れて取り組んだ学校はハローをおいて他にはありませんでしたし、これから先もないでしょう。とにかく英語だけでなく、自分の好きな感覚をたっぷり堪能させてくれたとても偉

大な存在でした。

(5)今後の抱負について

ガイドとして、人間として誰からも愛されるような仕事がしたいと思っています。改善、向上しようと努力している中にも知性や人間性、器量などが心地よく伝わるガイドになりたいと思っています。

語学の面からは、細かな言葉のニュアンスを伝えられるように文法を基本に英作技術を高め、話題の要素となる知識の面からは、どんなニーズにもあわせられるように、より多くの知識をもつとともに実体験をできる限り積んでおくことが大切だと思っています。

加えて、これまで日々の暮らしの中でもっていたら有用であると考え、並行して勉強していたことのある国家資格や検定試験がありますので仕事の合間を見つけて取得していきたいと思っています。そして、それらの国家資格などもメールで知るところとなった通訳案内士の資格のように改悪されるおそれのなきように栄えある通訳案内士国家資格とともに明るい未来が待つように願うばかりです。合掌



## ●5-3[英語／神奈川県／会社員](横浜校生徒・シニアコース、マラソンセミナー通信受講)

### (1)受験の動機

受験勉強を始めた頃は、英語とまったくない自営業でしたが、もともと英語に興味があり、またオーストラリアに友人が増えた事もあって英語のスキルを磨き、英語を使った仕事がしたいという漠然的な動機から受験勉強を始めました。

### (2)第1次試験対策

#### <英語>

いざ実際に英語の勉強を始めてみると、中学から大学まで英語の勉強をしてきたにもかかわらず、分詞構文やら、関係詞やら、まったく文法的にわかっていなかった自分を発見しました。

1年目はハローのテキストにもついてゆけず、英語の試験はまったくの手ごたえのない惨敗でした。社会科目は合格しておりましたので、2年目は英文法書を一からやり直し、シニアコースを通信で受講いたしました。2年目からようやく英語の試験と向き合えるようになったと感じ始めましたが、なかなか結果がでませんでした。

3年目、4年目もシニアコースを受講し、英文和訳についてはなんとかよい感覚がつかめてきましたが、本番の和文英訳、日本的事象の英文説明の表現に不足を試験後に感じておりました。日本的事象については知っていることをただ単に羅列するのではなく、提示されたテーマについて外国人がどういった点に疑問を持つのか？という事を考えながら文章を作っていくのがよいのではないかと考え始めたのは、受験5年目で、ようやく英語の1次試験を通る事ができました。

#### <日本地理>

もともと社会科については日頃から興味があり、得意でしたが、改めて勉強として向き合うために、1年目に市販されている地図帳にハローのマラソンセミナーで得た情報をすべて記帳し、地名と位置関係を一致させて覚えられるようにしました。地理の試験に関しましては、受けなければならない年には、この1冊を取り出して眺めるようにしていました。

#### <日本歴史>

歴史も大変好きな科目ではありましたが、文化史に関してはやや苦手意識がありましたので、ハローのマラソンセミナーで推薦していただいた、なるべく写真の多い参考書を購入し、仏像、建築様式、絵画の特徴を頭に入れるようにしました。歴史もハローのマラソンセミナー以降はこの参考書1冊で勉強しました。また、NHKの「日曜美術館」で歴史的に有名な絵画が話題にされている時など、番組を見て絵と作者を一致させるようにしました。

#### <一般常識>

一般常識に関しましてはまず、観光の統計に関する情報はインターネットを使用して情報を収集しました。また、最近のトピック的な情報については毎年出版されている昭文社の「なるほど知図

帳」を購入して時間があれば眺めていました。この本には最新の統計、社会問題、社会現象などが盛りだくさんで、勉強に限らず、人と話す時の話題作りにもなる本だと思います。

### (3)第2次試験対策

初めて2次試験を受けることになったのは試験挑戦6年目でした。ハローの2次試験の想定問題、過去問集で自分なりに回答を作って練習いたしました。特にとちりもせず、回答したとっていたのですが、残念ながら不合格でした。

今から思えば緊張して棒読み状態だった気がします。再度の2次試験挑戦は試験勉強を始めてから8年目でした。この8年間で、私も仕事が変わり、自営業から会社員、しかも外国人とかかわる仕事につき、英語を普段比較的使う身となりました。

よって試験は、今までハローの想定問題の内容を頭に入れながら、自然体で試験にのぞむ事にしました。今回の2次試験は前回と少し形式が変わりました。1問目は試験官の話す日本語を英語に訳す問題でした。おそらく、試験官が話すことを正確に全部訳そうとするのは難しいので、大意をつかんでまとまった文にできればよいのだと思います。

次は一つのテーマについての2分間のプレゼンです。テーマは3つの中から選べるのですが、その後質疑応答もあるので、ただ単に説明できるだけでなく、話の広がりあるテーマを選んだ方がよいと思います。また、私は特に練習しませんでした。2分の時間を感覚的につかむために、時間を計った練習をした方がよいかもしれません。

### (4)ハローのメルマガ、教材などで特に役に立ったこと

もともと社会3科のマラソンセミナーの講義(通信で受講しました)は大変役にたちました。この講義の内容を書き込んだ地図帳、参考書それぞれ1冊で、初年度以降の地理と歴史の試験はすべて受かりました。時事英単語につきましてはメルマガでいただいた英単語を自分の単語帳に蓄積していきました。

### (5)今後の抱負

まったく要領の悪い性格で案内士の資格をとるのに8年もかかってしまいました。常に頭のどこかにあったのは「絶対にあきらめない！」というハローからのメッセージでありました。英語を使う仕事がしたいという希望は皮肉な事に、資格を取る前に実現してしまいましたが、この資格を利用して新たなネットワーク作りができれば、人生楽しいのではないかな・・・?とワクワクしています。本当にお世話になりました。ありがとうございます。

## ●5-4[英語／京都府](メルマガ読者、教材利用者、植山先生の漫談聴講生)

### (1)受験の動機

私にとっては異文化コミュニケーターの象徴という資格。語学だけではなく、日本の歴史、地理、文化、風土等、広く日本の姿を海外に向けて発信する重要な立場に立つ人という認識で、学生の頃からの目標でした。

自国のことにも拘わらず、いざ説明するとなると母国語でさえ説明できないことに気づき、通訳案内士の勉強を通じて、端的な要領を得た英語で説明することを学ぼうと思い立ちました。

### (2)第1次試験対策

#### <英語>

##### ・ハローの利用教材

「第一次英語筆記試験問題集」「第一次英語筆記試験対策教本A&教本 B」(ダウンロード版)「でる単その1&その2」「ハローのメルマガ(単語)」

過去の試験問題は一通りこなしました。教本 AB は全てをやるには至りませんでしたがいくつかを抜粋して取り組みました。でる単は常に持ち歩き、暇をみて覚えました。ハローのメルマガでの日々の英単語は全て印刷して通勤時、外出時の電車内で覚えるようにしました。その単語は過去の出題実績に基づくもので精選されておりとても試験対策にはとても有効なものでした。

##### ・その他の教材

「英語で話す「日本」Q&A」「あなたも通訳ガイドです(柴山かつの)」「日本まるごと英単語帳」

「あなたも....」ではCDを聴き、観光客と通訳ガイドとの会話を1.5倍で速聴きしてシャドーイングすることを試みました。テレビ、ラジオでの英語教育番組、興味のある海外ドラマは出来るだけ観るようにしました。毎日15分程度の英文音読練習も効果的だと思います。

#### <日本地理>

##### ・前年度合格にて免除。

推薦書:「今がわかる時代がわかる 日本地図 XX 年度」

#### <日本歴史>

##### ・前年度合格にて免除。

推薦書:「世界一おもしろい日本史の授業(伊藤賀一)」

#### <一般常識>

##### ・ハロー通訳アカデミー「マラソンセミナー 一般常識」利用

日頃の新聞、メディア、ネット等での情報に接していれば特に問題ないと思いますが、体系的に取りまとめられた教材として、本書は利用価値が大きいと思います。

### <勉強方法について>

仕事上、英語を使うことがないため、日頃の勉強時間は限られていました。帰宅途中に喫茶店によるかまたは帰宅後でした。

いずれにせよ時間を決めて習慣とすることが大事だと思います。仕事の都合もあり、定例化するのは困難かもしれませんが、習慣を守って継続することが肝要です。

でもできなかったからと言って仕事や自分を責めてはストレスがたまるばかりです。基本は英語と日本語に対する興味、知識欲ですから楽しみながらやる方が身心健全というものです。

私の場合、10年近くも受験してきており、ハロー通訳アカデミーの教材、メルマガを介して本格的に取り組み始めたのが3年ほど前で、今年漸く日の目を見たという立場上、短期決戦で臨む方々のご参考にはならないかもしれません。

私から言わせてもらうことがあるとすれば「継続は力なり」という一言に尽きるかと思います。そして原則は“Let's enjoy the process.”(どっかで聞いたような)。

### (3)第2次試験対策

・「特訓セミナー(2)」(時間的制約から範囲を絞りました)

テキストの「日本語」から説明文を英作しノートに筆記。答え合わせしながら、講師のアドバイス、ポイントを書き込み。

・「日本の事象英文説明 300 選」の単語カードを音読暗唱。

・ハロー通訳アカデミーの第2次口述試験対策<日本の事象英文説明最重要 60 選>の熟読

・ハロー通訳アカデミー植山先生の2次直前 YouTube の講義受講

1次筆記試験合格は予想外で、2次試験まで時間がないことに焦りを感じていました。もはや膨大な教材の量に取り組む精神的余裕もなく、やるべきことを絞り込みました。大事なものは、常に英文を声に出してぶつぶつ話すこと。

一日ひとつでもある日本の事象のテーマについて2分間話してみる。往々にしてことばに詰まってしまうが、何とか連想しながら話をつなげる練習をすることは効果的だと思います。

でも一番励みになったのは植山先生の試験直前のYouTube講義。孤独に試験に立ち向かう自分にとって、植山先生のユーモアを交えた講義内容は実に楽しく、精神的にも大きな支えとなり有り難かったです。

### (4)ハローで特に役に立ったこと

この朗報はハロー通訳アカデミーが提供する教材と植山先生の貴重な講義ビデオがあったからこそと感謝しております。長年に亘ってのご指導本当にありがとうございました。

この資格を取得し、私なりの先生への恩返しはこれからと思っております。植山先生、今後もお体を大切に引き続き多くの方々へのご指導を戴き、日本を眞の観光大国へと導いて戴きますよう宜

しくお願い致します。

(5)今後の抱負

今後は、通訳案内士としてより多くの海外からのお客様に日本の素晴らしい文化を楽しく、正確に伝えられるよう日々努力していこうと思っております。望むべくは、現観光業界が様々な市場抑制及び不当な競争下にある中で、微力ながら眞の異文化間コミュニケーションを求めて日本と海外の国々を友好の絆で結ぶ架け橋の一助となれば幸い存じます。

## ●4-7[英語／滋賀県／パート] (メルマガ読者、「日本の事象英文説明 300 選」愛用者)

### (1)受験の動機

以前、教師をしていました。外国人の先生とお仕事をするすることがあり、仕事以外でも過ごすことが度々ありました。食事をしたりして日本のことを色々聞かれても、「なんとなく知っているはずなのに説明できない」ことが多いことに気がきました。

何年かして、この資格を知り勉強を始めました。もともと社会科が大の苦手であり、その壁はとても高かったです。引越しを機にだめもとで受けてみようと思い、初めて受けたのが一昨年です。地理・歴史・一般常識は通り、昨年残りの英語、そして二次へと進むことができ、今に至ります。(2007年ぐらいから少しずつ勉強を始め 2012年に初受験)

### (2)第1次試験対策

#### <英語>

・「300 選」は読んで、知らない単語や表現をチェックして、植山先生のメルマガよりダウンロードした音声を行いました。本当は書き出して暗記まですべきだったと反省しています。

・長文は最初、ただただ読んでいましたが、それは対策とは言えず、文の組み立てを理解していないことに気づき、英文法解説(金子書房)を始めました。例文を書く、ポイントを書き込む、例題を解くという方法でした。

・あと、インターネットで探してきた日本の事象に関する予想問題をノートに書き出し、まず例文を写して専用ノートをつくりました。(今思うと植山先生だったかもしれません。)英作文は面接にも通じる場所があるので、丁寧にやりました。私の場合、そもそもその事象とは何かの知識を得ることが大事だったので、「300 選」以外にも学習書(新英語で語る日本事情/ジャパントイムズなど)をあわせて見てノートにまとめました。

・英作文は過去問題を解いて、まず自分で書く→解答例をみて添削→修正版を書き直す→という練習をしました。基本的な知識は「300 選」で学習し、このときは限られた時間の中で書いてまとめるという目的でやりました。

・Eテレでやっていたトラッドジャパンと NEWS で英会話を録画してノートを取りながら観ていました。特にトラッドジャパンは英作文、2次面接を意識してやることができました。

#### <日本地理>

勉強のスタートラインが、おそらく周りの方より遅かったと思います。

まず、47都道府県の位置を知るために、小学生の地図ドリル(成美堂出版)をやりました。地形、産業、産地なども載っていて興味深かったです。拡大コピーして作った白地図にて国定公園、国立公園など位置を書き込みチェック。

「これでわかる地理 中学1年～2年 文英堂」で地理、地形、産業などを学習。そうこうしているうちに、地理というものに自分が慣れてきた気がします。頭に叩き込んだとは言えませんが、少しずつ

つ染み込ませる感じでやっていました。

#### <日本歴史>

20年くらい前に買った小学生向け日本の歴史のまんが1冊を読んで、ノートにまとめるところから始めました。その後、高校の日本史の本(書き込み式教科書 詳説日本史 山川出版社)を(1)まず一通り書き込みながら読む。(2)上記のノートにさらに加筆、あらたにノートをつくりまとめる。(3)試験用に重要事項をピックアップして学習をしました。

他に、天皇一覧を作る、徳川家一覧を作る、歴史上の事件や出来事を白地図に書き込む(地理でコピーした白地図)といったことをしました。ただし、白地図は矢印まみれになってしまいましたが、自分で作った地図は愛着もありよかったです。この自作の地図は試験直前&当日に携帯し何度も見直しました。また、仏像写真、寺社仏閣の写真もコピーして何度も眺めました。

#### <一般常識>

「通訳ガイド地理・歴史・一般常識完全対策」(法学書院)にて用語を学習。そもそも第一次産業って何?というところからの始まりでした(笑)

小学生向け時事問題書もしましたが、こちらは数ページで挫折しました。

新聞を読む、ニュースで気になることはメモする。一般常識は正直手が回らず後回しになってしまいました。日頃から新聞やニュースを意識して見るくらいでした。試験を目標にする以前から手にしていた「今がわかる 時代がわかる 日本地図 成美堂出版」も、目を通しておりました。

#### (3)第2次試験対策

植山先生のセミナー動画をスマホとノート、片手にペンを握り締め拝聴しました。予想問題を“二次面接用ノート”に書き出し、プレゼンとして成り立つ長さにまとめました。

英作は「300選」をもとに、今まで調べたものを用いて作文。そして、時間を計りながら音読して長さを調整しました。

自分には「書けないものは話せない、知らないことは話せない」という思いがあるので地道に取り組んでいました。A5版ノートに2冊分。

全問題は作れませんでした。自分のお守りとして直前まで見直し練習しました。このノートは今後も引き続き書き進め、完成させ、オリジナルの日本事象ノートにしたいと思っています。

日本事象の学習の1つとして、NHKBSの新日本風土記を観ていました。こちらも録画してノートを取りながら視聴しました。日本各地の祭、寺社仏閣、風習などを見ることで、日本文化についての全体像をつかむという意味でもよかったかなと思います。

#### (4)ハローのメルマガ、教材などで特に役に立ったこと

上記をご覧のように、当初から独学&自己流で勉強しており、私がハローを拝見し始めたのが、随分あとになってでした。特に、植山先生のセミナー動画は心強かったです。

というのは、二次面接で何十年ぶりに口がカラカラになるほどに緊張していたあの時でさえ「黙

ったらアウトです」と何度もおっしゃっていた植山先生の言葉はしっかりと頭にあったから頑張れました。踏ん張れました。繰り返しおっしゃってくださったこと、心から感謝しています。

あのセミナーがあったから、一次の合否が分からない中でも腹をくくって二次勉強に取り掛かれました。あの切り替えがポイントだったなあとと思います。日本事象は「300 選」をベースとして、それを広げたり、また、例えばお正月ならお正月関連事項を組み合わせ書いてもできましたし、ここがベースでした。

#### (5)今後の抱負

今の私の課題は会話力です。通訳・・・という名の資格を目指したわけですから、話せなければ何にもならないですよね。今後はガイド研修を受けようと検討しています。現在の仕事も調整しつつ、今後の進路も考えていかねばなりません。

マラソンで言うなら、やっとスタート地点に集合できた感じで、これからラインに立って走り出せるようにしていく所存です。試験勉強は一段落ですが、十分だとは思っておらず、これからも「300 選」や学習書を継続していきたいと思っています。

何年もかけて抱えてきた目標です。その間に色々な出来事があったなど、今振り返って思います。そんな人生の出来事の最中にあっても目標はずっと胸にあったということは、それだけの意味があった訳だと思うので、引き出しの中に大切にしまうのではなく、生かしていけるように頑張ります。長年の夢、活動できるその日を目指してこれからも一歩ずつ進みたいと思います。

#### (6)植山先生へ

私は先生の二次面接向けセミナー動画にどれだけ支えられたかわかりません。しゃべれなかったら・・・、緊張したら・・・、と思わなかった訳ではありませんが、プレゼンの準備を「自分が外国人観光客の人に話してあげるのだ」というつもりですることができました。

そしたら、「観光客にこんな難しい説明しても楽しくないよな」という事に気付きました。本当にありがとうございました。でも、これからも引き続きメルマガなど拝見させていただきたく思っています。どうぞよろしく願いいたします。「ありえへん」いろんなこと、本当に感謝しています。



## ●(2-1)[英語／東京](旧生徒)

### (1)受験の動機:

幼少時より、日本史や日本文化が好きで、大学では日本史学を専攻しておりました。就職活動の時期になり、せっかく学んだ日本史の知識を、教員以外でなんとか商売に繋げられないものかと、道を模索していたところ、通訳案内士なる資格があることを知り、挑戦しようと思い立ちました。英語もそれなりに好きで、高校までに英検 2 級を取得していたので、数年頑張れば合格点に達するのではないかと、安易に考えていました。

### (2)第 1 次試験対策:

#### < 英語 >

英語の一次試験は、前年度に合格していたので、旧試験についてしか知りませんが、これがやはり最大の難関でした。中でも毎回不安だったのが用語英訳問題でした。15 問すべて答えることは難しいとは思いましたが、ハローの「でる単 2」と「通訳ガイド用語のまとめ」に載っている単語を日本語訳する作業を何週も繰り返し、去年の本番では 15 問中半分以上はこのテキストに載っている単語でカバー出来たような気がします。

それから、日本的事象を説明させる問題については、やはり「日本的事象英文説明 300 選」が非常に参考になりました。この「300 選」は、1 次試験までに丸暗記は出来ませんでした。カウントしただけでも 150 回以上は音読したと思います。本番でも、「300 選」所収の英文をアレンジして合格しました。

#### < 日本地理 >

日本地理に関しては、高校時代に地理を選択したこともなく、受験でも使わず、一番何をしていいのかわからなかった科目でしたが、こちらもハローのテキストをやることで乗り切りました。「日本地理のまとめと対策」はもちろん何度も読みましたが、特に役に立ったのは「項目別 地図帳」でした。この地図帳に乗っている国立公園や温泉、山岳など、完璧に記憶して、何週か繰り返せば、それだけで合格点に達するのではないかと思うほど役に立ちました。覚える情報量もせいぜい 500 項目ほどしかないのです。まさに最小の努力で最大の効果を生む教材だと思います。

#### < 日本歴史 >

日本歴史に関しては、歴史能力検定 2 級(日本史)を取得していたので、免除になりました。

#### < 一般常識 >

一般常識では、ハローの「一般常識のまとめと対策」を、通勤中の電車の中で何度も読みました。通訳案内士試験の一般常識には、政治・経済だけでなく、伝統的産業や郷土料理についての知識も問われるので、このテキストの後半に乗っているリストが非常に役に立ちました。縮小コピーして持ち歩き、暇を見ては眺めて覚えたり、トイレに張ったりして覚え込みました。

### (3)第2次試験対策

去年は第2次試験で失敗してしまったのですが、去年の時点では「300選」も完全には暗記できていませんでしたし、何が聞かれるかわからないという緊張感もありました。今年は、「日本の事象英文説明 300選」を完璧に暗記して挑んだため、落ち着いていられたことと、トピックが指定されるとはいえ、3つの分野からプレゼン内容を選べ、かつかなり主導権が握れる試験内容になったため、「300選」を暗記した威力がさく裂しました。

プレゼンは「江戸について」を選んだのですが、内容はほとんど「300選」所収の「幕府」、「大名」、「将軍」、「侍」、「武士道」、「京都」あたりをアレンジして繋げただけで乗り切れました。

### (4)ハローのメルマガ、教材などで特に役に立ったこと:

特に役に立った教材はなんといっても「300選」です。これは本当にこれからも通訳案内士試験のバイブルだと思います。メルマガでは、訪日外国人数などのデータがかなり役に立ちましたし、植山先生のおもしろいお話に、いつも元気づけられていました。

### (5)今後の抱負:

現在は塾講師の仕事をしているのですが、今後は早く登録を済ませ、研修を受けて通訳案内士として徐々に仕事をしていき、できればゆくゆくは独立してやっていきたいと考えております。

## ●(2-2)[英語／北海道／塾講師](旧生徒(通信))

### (1)受験の動機

昔から旅行と英語が好きで、知人が通訳案内士をしているのを見て自分もやってみたいと思いました。でも相当な勉強をしないと合格できない事はわかっていましたので、最初から 3~4 年計画でした。

### (2)第 1 次試験対策

#### <英語>

なんといっても英語力がなく(準 1 級は持っておりました)ハローの通信受講を決めました。教材 A,B をやる他に、文法、英作文、長文読解などそれぞれの問題集(大学受験用)を購入し少しずつ自分でやりました。英作文は『英作文が面白いほど書ける本』(竹岡広信)を使いました。

単語についてはハローから出ている過去問の単語小冊子と website の英語道場真剣勝負から時事用語・ガイド用語をすべて拾って貼付けて問題を作り、何部もプリントして書いて覚えました。(最初 3 年はスペルまで完全に覚えなくてはいけなかったの。)今回、試験方式がマークシート方式に変わり、拍子抜けとなりました。全問正解できました。

#### <日本地理>

地理は中でも得意でしたので、ハローの教材のみを使いました。日本白地図を何枚もコピーし A4 ノートに貼付け 山脈、川、都市、産業など必要なものを書き込みながら 覚えました。

#### <項目別地図帳>

<http://hello.ac/geography/map.pdf>

#### <都道府県別地図帳> (右に、90 度回転させてご覧ください)

<http://hello.ac/map.prefectures.pdf>

#### <日本歴史>

これは厳しかったです。ハローの教材の他に山川出版の高校受験用、大学受験用の問題集を何冊かやりました。

仏像や神社仏閣を覚えるために時代順に写真がたくさん載った図解日本史(友人に貸し出し中でタイトルや出版社を覚えていません)を購入し覚える必要がある仏像などの写真をコピーしてから、A4 のノートに貼付けて作者、年代 特徴等を書き込んで自分なりのノートを作りました。

また、日本史全体の流れを知るために(私は世界史で受験したので日本史は苦手でした)図書館で、マンガ日本史を借りて読みました。ノートに縄文時代から昭和までの歴史事項、登場人物をまとめて書きながら覚えました。いつでも見直せるので、自分のノートは必須です。明治時代の政治家の名前を覚えるのが大変でした。

### <一般常識>

こちらも範囲が広いので一番苦労しました。ハローの通信生徒としての教材の他にマラソンセミナーの教材(テキスト、CD)を購入して、車の中でも CD を聞きました。

政治経済など何も知らなかったので大変役立ちました。また、ハローの指示通り、新聞を気をつけて読んでいました。歌舞伎、浄瑠璃なども見た事がなかったので、図書館で DVD を何本か観ました。

iPhone のアプリで、日本史や一般常識の練習問題アプリがありました。大学受験用なのかもしれませんが、無料とか、200~300 円の手頃なものも多く、いくつか DL して隙間時間にやっていました。

### (3)第 2 次試験対策

過去、英語でばかり落ちていたので、今回も合格していないと思い二次対策はしていませんでした。発表があつてからは、自分の全てを二次試験に使いました。

ネットで skype を使って対策授業をしてくれる方を見つけ(日本人)その方の授業を 1 時間×10 回程受けました。良い練習ができたと思います。

今回から試験スタイルが変わるという事で、情報が少なかつたのですが「日本の事象英文説明 300 選」を覚えると同時に、難しい言葉、言い回しはどうしても覚えられないので、日本の文化、行事、歴史、自分の地域の観光地など 50 個ほどのスピーチ原稿を自分の言葉で作りました。ハローの二次対策教材や「日本の事象英文説明最重要 60 選」などをネット上から情報をもらいました。

### <日本の事象英文説明最重要 60 選>

<http://hello.ac/2013.12.4chokuzen.pdf>

それを試験まで言えるように何度も練習しましたが、仕上がりは 80%くらいでした。「300 選」は短い文章ですが時代を考えると覚える必要がないと思うものもあり勝手に判断して必要事項 150 題くらいを覚えるようにしました。2 分間スピーチには、「300 選」をいくつかを組み合わせると使えますと思います。

### (4)ハローで特に役に立ったこと(セミナー、メルマガ、教材など)

マラソンセミナー、メルマガと、試験前 2 ヶ月くらいから送られてくる重要事項のまとめや直前の最重要事項などはプリントして試験会場へ持ち込み最後まで見直しました。また、website にて<特訓 1800 題>を時々やりました。

「300 選」やサッチャーさんの DVD を無料でいただいたり、とにかく試験に関する情報をいち早く送っていただいたので、大変助かりました。

私は、最初、通信生でしたから、最初から最後までハローのお世話になりました。先生の時間をいただいて、合格できたと思います。植山先生のご支援には本当に感謝しています。どうもありがとうございました。

### (5)今後の抱負

この勉強をして、いかに自分が日本を知らなかつたか痛感致しました。社会人として知るべき事を

勉強して得た事が一番良かったと思います。(試験終了後 日本史等かなり忘れていますが。。。)

これからは外国船の乗船客の案内など半日くらいから地道に仕事を始めて行きたいです。日本を、日本人を、そして地元を好きになっていただけるよう、誠意を持って案内しお伝えしたいです。

最後に、本当にどうもありがとうございました。今後もメルマガは読ませていただきますので宜しくお願いします。どうぞお体に気をつけてお過ごし下さいませ。

## ●(1-1)[英語／神奈川県](セミナー生、メルマガ読者、教材利用者)

### (1)受験の動機

五年超のニューデリー赴任を終え、45歳のとき日本に戻ってきました。なにか英語の資格を取ろうと考えました。ビジネスマンなので、まずはTOEIC990点満点をとろうと。970点以上はコンスタントにとれたのですが、990点をとるのに一年半かかりました。次は英検一級にチャレンジ。一回でパス。

英語三大資格として、もうひとつ通訳案内士があると知り、今回挑戦しました。国連英検特A級は受験する予定ありません。あまり知られている資格ではないので。むしろ、読みたかった本がたまっているのです、しばらくは本を読みます。

### (2)第1次試験対策

#### <英語>

英検一級に合格した直後に申し込んだので、英語の一次試験は免除でした。

#### <日本地理>

「マラソンセミナー 日本地理」(ハロー通訳アカデミー) + 「地歴高等地図(帝国書院)」 + 通訳ガイド 過去問解説(法学書院)

マラソンセミナーのテキストを読んでは、その場所を地図帳で確認し、地図帳に記入するという作業を行いました。マラソンセミナーを3回読み通して本番に臨みました。自己採点は80%の正答率。

#### <日本歴史>

「マラソンセミナー 日本歴史(ハロー通訳アカデミー)」 + 「日本史要覧(文英堂)」 + 通訳ガイド 過去問解説(法学書院)

この「マラソンセミナー 日本歴史(ハロー通訳アカデミー)」(なんと無償。植山先生には本当に感謝、感謝、感謝)の充実した内容で一挙に日本歴史が好きになりました。

特に飛鳥時代の文化、平安時代の文化に興味を持ち、中宮寺の半跏思惟像と広隆寺の半跏思惟像のどっちが好きかなんて質問を会社の同僚にしていました。受験を通じて歴史に関する勉強ができたことに感謝しています。自己採点は85%の正答率。

#### <一般常識>

「マラソンセミナー 一般常識(ハロー通訳アカデミー)」 + 通訳ガイド 過去問解説(法学書院)

地理、歴史については、マラソンセミナーで十分合格点に達しますが、昨年8月の一般常識試験は、傾向が異なりました。「東日本大震災後の復興」「大相撲」などはマラソンセミナーテキストには書かれていないと思います。この科目は日ごろから新聞などを関心もってどれだけ読んでいるかがカギだと思います。自己採点は78%の正答率。

### (3)第2次試験対策

「英語第2次試験対策「特訓セミナー(1)」(授業録画 22時間) (ハロー通訳アカデミー)」 + 特訓

セミナー(1)(2)(3)テキスト(ハロー通訳アカデミー)」

一次試験の勉強をしているうちに(3科目合計で100時間くらい)自信を持ったので、8月に入り、上記CD+特典DVDを購入し二次試験の勉強を開始しました。

特典DVDでのロン先生と女性受講生のやりとりが面白く、本当に楽しめました。女性受講生の豊富な知識に感銘を受けました。試験とは直接関係ないのですが、彼女が好きだという薬研温泉というのは一体どこにあるのだろうとネットで一時間も調べていました。望むべくもありませんが、一度お会いしたいと思わせる魅力的な性格、声質の持ち主でした。

自分は試験を受けるのが好きです。そのために勉強するのが好きです。試験後に日本酒を呑むのが好きです。今回も二次試験後、八海山吟醸一合 500円を購入。近くの公園で子供たちが遊んでいるのを見ながら呑みました。試験が終わった解放感でとてもおいしい。これがあるから試験はやめられない。

(2分間スピーチのために)

特訓セミナー(1)(2)(3)テキストのうちの「Pensions」「Health care」などの日本語でも答えられないものは、勉強しないことにしました。全体の8割ぐらいのトピックについては最低限答えられるように、テキストを自分の表現に修正して覚えました。

試験直前3週間はヤマをかけました。3つの出題トピックのなかにヤマが当たることを祈りました。ヤマトピックは、一次試験の3科目に関連したものになるだろうという予想のもと、「東京オリンピック」「東日本大震災が観光に与えた影響」「相撲」「明治維新」「日本庭園」としました。この5トピックについて2分程度で話せる様、原稿を作ってすべて暗記しました。結局、ヤマは外れました。自分が当日、3枚のカードから選択したのは「浮世絵」でした。

(逐次通訳のために)

自分にとっては、2分間スピーチよりもこちらが鬼門でした。メモをとるのが著しく遅いのです。結婚した21年前「こんなに書くのが遅い人見たことない」と言われたほどなのです。

そのため、できるだけメモをとらず、記憶することとしました。自分で日本語想定問をつくって録音、それを聞きながら逐次通訳しました。これを繰り返しました。後は、自分の意見を加えないこと、要約しないことに気をつけました。

本番では記憶できなかった箇所が1か所ありました。この逐次通訳は、試験官によって有利不利がでます。試験官の質問の速度が一定ではないのです。

ゆっくり話す試験官に当たった場合は有利になると思います。自分は、テープが流れるとばかり思っていたので日本人試験官が問題を読み上げたときには驚きました。言い間違えて、2回繰り返した試験官もいたようです。

(4)独学、一発合格のために役にたったこと3つ

(一次試験は地理、歴史、一般常識だけでそれほど難しくなかったのも、自分にとっては二次試験がカギでした)

「9月7日の植山先生の二次口語試験対策特別セミナー」

「植山先生のメルマガ」

## 「11月9日の周一郎先生のご講演」

### ・9月7日の植山先生の二次口語試験対策特別セミナー

参加して二次試験の様子がだいぶ理解できました。

特に、服装はスーツ、就職試験でもある、聞かれたら嘘でも通訳ガイドになると答えろ、そうしないと合格しない、というのは知らずに試験に臨むところでした。

明海大学浦安キャンパスでの一次試験で、ランニングシャツに短パン、サンダルで受験していた初老の男性を廊下で見かけて、いったいこのひと、国家試験を馬鹿にしているのか、そんな恰好で通訳ガイドをしたら、日本という国がどうみられるのか意識しているのであろうかと疑問を持っていただけに、明快にスーツと言われてほっとしました。

### ・植山先生のメルマガ

二次試験スピーチの3題はいずれも山がはずれたので、教材などは直接役立ちませんでした。

一番役立ったのは、植山先生のメルマガでした。「100点を求めなくていい。60点で合格」「沈黙したら不合格。とにかく話せ」の2点がとくに精神的な助けとなりました。

### ・11月9日の周一郎先生のご講演

3時間があつという間でした。周一郎先生の人生が詰まった講演。自分も一流を目指さなくてはこの思いを新たにしました。

自分の質問「苦手な論題が出され、2分間持たない場合の対処方法は？」についてもその場で「ではちょっとやってみましょうか。なにか論題をください」と臨機応変に対応いただき、プロのすごさを痛感いたしました。

論題に対して、知識そのものだけで対応するのではなく、自分の体験を盛り込むことで時間調整できること。そして、植山先生から補足説明いただいたようにどんな論題でも「By the way, in 2020, Olympics and Palalympics will be held in Tokyo」で始まる30秒か1分の自分なりのセンテンスを記憶しておいてそちらと関連付けてしまうというのは、本当に実用的であると感じ入った次第です。植山周一郎先生のご講演がいまでも頭から離れません。あの2分間の即興スピーチで一回も言い直しをされなかった。それに引き替え、自分の実力のなさは。

(ご講演後、外国人にはCall me Shinと言っています。これは周一郎先生が、米国人は例えば竜司Ryujiと発音できないので、彼らが呼びやすいように愛称をつける必要があるとおっしゃられていたことに対応したもの。宮之本Miyanomotoなんて外国人に期待するのは酷かと)

### ・ハロー通訳アカデミーへのメッセージ

無償でのセミナー、コーヒーラウンジなど本当に頭が下がります。植山先生は人間的な成長という観点で自分の目標です。



(5)今後の抱負

周一郎先生の影響を受けました。2020年の東京オリンピックの際にアスリートの通訳案内をして日本国に貢献したいと思います。開会式、閉会式に参加できれば家門の誉れになります。

## ●(1-2)[英語／東京](メルマガ読者、教材利用者)

### (1)受験の動機:

留学や海外添乗員の仕事を通じて、海外のたくさんの方たちにお世話頂いたり、親切にして頂きました。また、日本文化や歴史、伝統の素晴らしさを再認識しました。今度は、自分が日本に来られる方たちに日本をもっと理解して、もっと好きになってほしいという「恩返し」の思いが湧いてきたことと、日本の素晴らしい文化、歴史、伝統をより多くの方たちにPRしたいという思いで受験しました。

### (2)第1次試験対策:

お仕事をされながら受験勉強をされていらっしゃる方も多いかと思いますが、私も仕事をしながらの受験でした。スケジュールや時間配分は、人それぞれだと思いますが、少しでもお役に立てば幸いです。

#### <英語>

ハローの教材:「日本の事象英文説明 300 選」

その他の教材:「日本文化ビジュアル事典—英語訳付」(池田書店)、「通訳ガイド 英語過去問解説」(法学書院)、「通訳ガイド 英語完全対策」(法学書院)、「Japan News(英字新聞)」

・NHK World Radio Program (英語)

<http://www3.nhk.or.jp/rj/podcast/mp3/english.mp3>

NHK World (英語)

<http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/index.html>

何はともあれ、「日本の事象英文説明 300 選」は、プリントして自分なりに書き込みも加えました。電車の中で読み完璧にマスターしました。2次試験でも、とつても役に立ちました!「日本文化ビジュアル事典—英語訳付」は、補足として使いました。

週末、まとまった時間の取れる時に、「通訳ガイド 英語過去問解説」と、「通訳ガイド 英語完全対策」も繰り返し解きました。

今回は、過去の英語の問題が一般常識の問題に出題されていました。英語の過去問の解説で、歌舞伎の上座のことに触れているものがありましたが、それが今回、一般常識の選択肢に出いたので、思わずニンマリしてしまいました。このような意表をついた出題もあるのかと思いました。植山先生がおっしゃる通り、過去問を解くことは大切だと痛感致しました。

「Japan News」は毎朝の通勤時と昼休みに読みました(全部ではなく、日本の政治・経済・文化に絞って)。記事をたくさん読むことは、文章作成の役に立つと思います。また、一般常識対策としても良いかと思っています。

NHK のラジオは、朝と晩、定期的に聴きました。1次試験の合否発表から2次試験までの期間が短いので、毎日少しでも耳を慣らすためです。

### <一般常識>

ハローの教材:

「一般常識の最重要事項」、「マラソンセミナー」テキスト、<特訓 1800 題>

その他の教材:

「もういちど読む 山川 政治経済」(山川出版社)、「通訳ガイド 地理・歴史・一般常識過去問解説」(法学書院)、「通訳ガイド 地理・歴史・一般常識完全対策」(法学書院)

日々のニュース

・NHK World Radio Program(英語)

<http://www3.nhk.or.jp/rj/podcast/mp3/english.mp3>

### <日本歴史>

ハローの教材:「日本歴史の最重要事項」、「マラソンセミナー」テキスト、<特訓 1800 題>

その他の教材:

「もういちど読む 山川 日本史」(山川出版社)、「通訳ガイド 地理・歴史・一般常識過去問解説」(法学書院)、「通訳ガイド 地理・歴史・一般常識完全対策」(法学書院)

### <日本地理>

ハローの教材:「日本地理の最重要事項」、「マラソンセミナー」テキスト、<特訓 1800 題>

その他の教材:

「通訳ガイド 地理・歴史・一般常識過去問解説」(法学書院)

「通訳ガイド 地理・歴史・一般常識完全対策」(法学書院)

※地理はもともと好きで、得意でしたので、他の科目と比較すると、あまり時間を割きませんでした。

<一般常識>、<日本歴史>、<日本地理>は、まず、ハロー教材の「最重要事項」と「マラソンセミナーテキスト」と、山川の「もういちど読む…」を何度も読みました。何度読んでも覚えられない用語には、マーカーをつけました。最終的には、マーカーの箇所だけ覚えるようにしました。

ただ暗記だけでは飽きてしまうので、電車の中や夜間に<特訓 1800 題>と「通訳ガイド 地理・歴史・一般常識過去問解説」、「通訳ガイド 地理・歴史・一般常識完全対策」を解きました。これらの問題で、何度解いても覚えられないものは、テキストデータにして、Dropbox に入れてスマホでも勉強できるようにしました。

完全に覚えたものは、テキストデータから消していきました。覚えることが増えた快感と、覚えなければというストレスが減る効果があったように思います。

ハロー教材の「最重要事項」と「マラソンセミナーテキスト」は完璧マスターすることが大切です。過去同様、今回もこれらの中から出題されたことが実証しています！

山川の「もういちど読む…」シリーズについては、図面の細部にも目を通しておいた方が良かった

思います。

(3)第2次試験対策:

ハローの教材:「日本の事象英文説明 300 選」、植山先生の予想問題

その他の教材:

「日本文化ビジュアル事典—英語訳付」(池田書店)

「Japan News(英字新聞)」

NHK World Radio Program(英語)

<http://www3.nhk.or.jp/rj/podcast/mp3/english.mp3>

NHK World(英語)

<http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/index.html>

NHK NEWS WEB(日本語)

<http://www3.nhk.or.jp/news/>

1次試験同様、「日本の事象英文説明 300 選」は、プリントして自分なりの表現を書き加えました。植山先生が予想問題で挙げられたトピックは、ノートに書き込みました。これらのプリントとノートを電車の中や昼休み中に何度も読み返しました。「日本文化ビジュアル事典—英語訳付」は補足用に使用しました。

「Japan News(英字新聞)」は、昼休みや時間のある時に、音読をするようにしました。外国人の方に会話を依頼する時間もなかったため、英語を発する訓練として効果的でした。

NHK World Radio Program は、朝に、NHK World は、夜、リスニング用に聴きました。

NHK NEWS WEB は、動画があるので、夜、パソコン画面で日本全国のニュース(特に、伝統文化、歴史、風物詩、経済に関するもの、※事件などは論外)を聴きました。

動画を見ないようにして、ノートに自分なりの方法でメモを取りながら聴きました。話の切れの良いところで、動画を一時停止して、メモをもとに英語で内容を声に出しました。そして、動画を再生して、メモを取って、英語で話す。この繰り返しです。

1件の動画は、約1~5分程度で、1日約6、7件は練習しました。(例:今日は北海道と東北6県、翌日は、関東1都6県というように)これらのニュースの中には、翌日のNHK Worldで放映される場合もあるので、復習にもなります。

(4)ハローのメルマガ、教材などで特に役に立ったこと:

全ての科目において、ハローの教材をマスターすることは必須です!!!

その他の教材は、各々の好みがあると思いますが、ハローの教材を基本としたら、あとは教材の数をむやみやたらに増やすことなく、ひたすら繰り返し読むことが大切だと思います。

それほど、ハローの教材(2次試験の予想問題も含む)には、植山先生の経験と実績に基づいた

エッセンスが凝縮しています。

こんな素晴らしい教材を「無料ダウンロード」で提供されている先生の寛大なサービスとお心遣いに、改めて感謝申し上げます。メルマガでの先生からのエールや心構えも大変役に立ちました。

#### (5)今後の抱負

合格に甘んじることなく、日々、英語や日本文化、歴史などの知識の研鑽を積みます。そして、日本に来られる外国人の方たちが、日本を楽しんで、もっと日本を好きになってくれるよう、「エンターテインメント性」と「おもてなしの心」を持ったプロの通訳案内士、日本のエキスパートになります。先生がメルマガでご指摘されているとおり、JTB や国交省のスタンス、ヤミガイドの問題などがありますが、それに打ち勝つ矜持を持って、外国人のお客様のみならず、日本の PR や日本の観光・経済に寄与できるよう尽力致します。植山先生、本当にありがとうございました！！

## <中国語>

### ●(1-10)[中国語／台北(本籍:石川県)／主婦](メルマガ読者、教材利用者)

#### (1)受験の動機

結婚以降、海外から海外の転勤生活を続けてきました。「自国の事ぐらいきちんと説明できるようになりたい」それが通訳案内士を志した初めのきっかけです。本命は中国語でのガイド資格取得でしたが、英検一級保持者の場合、筆記が免除されると知り、まず英語で受験。邦文三教科と二次の受験に絞り、一度で合格することができました。そして、今年も邦文三教科が免除だったため、中国語の筆記と二次に絞ることができ、なんとか合格にこぎ着けることができました。

#### <中国語>

一ツ橋書店の「国家試験通訳ガイド中国語」、白帝社の「中国語 40 字で伝える日本」と白帝社の「カルタ式基礎成語 260」の三冊のみを勉強しました。初めは「日本の事象英文説明 300 選」を中国語訳しようと思ったのですが、仕事やボランティアが忙しく、断念。

「中国語 40 字で伝える日本」を使用しましたが、大陸の中国語と台湾の中国語の言い回しが違うため、丸暗記はせず、大体こんな感じに言えばいいのかなと理解する程度にしました。

それでも、試験に「駅ナカ」が出た時は、さすがにしめた(笑)と思いました。「カルタ式基礎成語 260」は基本的ですが、良く使われる成語が集められていて、ドリルや問題もよく、逸品だと思います。単語は「国家試験通訳ガイド中国語」にまとめられているので、その学習のみでした。

中国語で必要とされる、単語、成語、中文和訳、和文中訳、中国語による語句説明、どれも完璧ではなかったですが、ひと通りこなし、苦手分野がなかったことが勝因でしょうか。過去問は時間がなく、全くしませんでした。レベル的には難易度はあまり高くない(中国語検定準一級ぐらい?)と思いました。

2012 年度に英語で合格しているので、<日本地理><日本歴史><一般常識>は免除でした。下記は、2012 年度合格のために行ったことです。

ハローの教材として、「日本歴史のまとめと対策」、「日本地理のまとめと対策」、過去問、メルマガで公開して頂いたマラソンセミナーと別冊を繰り返し学習しました。後は、「通訳ガイドー地理・歴史・一般常識完全対策(岸貴介著)」を購入し、学習しました。時間のない方はマラソンセミナー＋別冊でもかなりの力が付くと思います。

#### (3)第 2 次試験対策

一次の合格から三週間での準備は困難を極めました。ただ去年英語で一通り経験済みだったので、内容的には理解ができていて、それを中国語に直すという作業を続けました。

一番役に立ったのは、今年の二次対策資料の予想問題でした。予想問題の答えを去年の二次対策の資料や「300選」から抜粋し、組み合わせたりしながら自分なりの模範解答を作り、何度もつぶやく練習をしました。その他は去年の「二次試験対策ジャンル別予想問題最終チェックリスト」、「合格必勝資料(6)」を使いました。

(4)ハローで特に役に立ったこと(セミナー、メルマガ、教材など)

プレゼン用カード三枚のうち二枚で、先生の山掛けが見事当たり、本当にラッキーでした。前日等に、「両方の試験とも、6割できればよい。同時通訳者の試験ではない、通訳問題も半分ぐらいで大丈夫」等の励ましのメルマガが届き、精神的にかなり救われました。モバイル機器の電源を切る直前にもう一度そのメッセージに目を通し、自分を落ち着けることができました。

今年から二次試験の傾向が大幅に変わり、不安の中での受験でしたが、二次対策の動画で色々分析して頂き、本当に助かりました。

(5)今後の抱負

二カ国語で通訳案内士の資格を取るという目標が、最短の二年で実現でき(一年で両方取られる方もいらっしゃると思いますが、私の中ではこれが最短です)、本当に夢のようです。

現在は台湾の中正記念堂でボランティアガイドとして勤務していますが、ゆくゆくは故郷の石川に戻り、ふるさとのために何かできたらという思いでいます。通訳、翻訳のボランティアもこれまで同様に続け、日本と色々な国の方々の架け橋となれるよう、精進したいです。

通訳案内士は唯一語学を対象にした国家試験であり、検定試験とはその内容も、求められる資質も大きく異なります。これからは有資格者として、恥ずかしくないよう、いろいろな面のブラッシュアップに努めたいと思います。

植山先生、二年間本当にありがとうございました。先生のご指導、鼓舞がなければ、心の弱い私は途中で折れていたかもしれません。見ず知らずの私をこれまで支えて下さって、本当にありがとうございます。ご恩は一生忘れません!!!

## ●4-3[中国語／群馬県](メルマガ読者、ハロー教材利用)

### (1)受験の動機

主人が転勤族なので、「手に職」をつけて転勤についていっても場所や期限を問わずに就けるような仕事を探していました。中高の英語科と社会科の教員免許は持っていますが、実務経験がないためいまひとつ知識面に不安がありました。

通訳案内士は永年有効な国家資格で理想の資格でした。また、試験勉強を通じて自身の語学力と社会科の知識を強化できると思って受験を決意しました。

### (2)第1次試験対策

#### <中国語>

2012年度にチャレンジ受験をした際にマグレ？採点ミス？で運良く合格したので、あまり参考にならないかと思いますが、『徹底攻略 国家試験通訳ガイド中国語(改訂版) (中国語学院著)』というテキストの問題にはひと通り目を通しました。

#### <日本地理><日本歴史><一般常識>

ハロー通訳アカデミーのホームページから、それぞれのマラソンセミナーのテキストをダウンロードして、授業内容のCDを聴きました。

私はとにかく本当に「机に向かって黙々と何かをする」ということができない注意力散漫人間なので、CDを聴きながらテキストに書き込んでまるで本当に授業を受けているように勉強を進めていくことができたことが奏効しました。

また、耳から情報を入れることで記憶しやすくなると思ったので、マラソンセミナーCDをiPhoneに取り込んで毎日の通勤時間に聴いていました。

歴史と一般常識に関しては、ひと通りマラソンセミナーで授業を聴いたあとに、記憶を定着させるため改めてテキストを見ながら項目別に自分の文字でノートに書いてまとめました。地理は時間がなくてできなかったのですが、テキストを見ながら白地図に川や山脈を書き込んで勉強しました。

部屋の壁一面に日本地図全図を貼って毎日眺めていました。これも、「地理は視覚的に見たほうが覚えやすいのではないか。という私の持論に基づいたものです。朝、出かける直前と夜寝る前のちょっとした隙間時間にも見るように意識していました。

主に一般常識の勉強にインターネットを活用しました。

株の見方や最新の芥川賞や直木賞、ベストセラーやオリンピックの成績など、わかりやすくまとめられている参考資料を見つけました。勉強に飽きたときのいい息抜きにもなりました。

過去問は2004年分まで遡って半年前くらいからやりはじめました。

### (3)第2次試験対策

「日本の事象英文説明300選」を中国語に翻訳。



ベタなやり方ですが、植山先生にいただいた「300選」を一日10項目ずつ、1ヶ月かけて中国語に訳してから、声に出して練習しました。

・中国語のラジオや音楽を聴く

リラックスタイムや家事の合間に聴き流して、耳慣れさせていました。

・植山先生が配信してくださった動画を視聴しました。

(4)ハローのメルマガ、教材などで特に役に立ったこと

第1次試験に関して:

マラソンセミナーはしどの先生の授業もわかりやすく、ところどころユーモアを交えた授業は聞きやすく、たまに可笑しくてふき出すくらいで、本当に楽しみながらポジティブに勉強を進められました。また試験直前に毎日のように重要項目を配信してくださったので、プリントアウトして、暇さえあれば見返すことができ、大変役立ちました。

第2次試験に関して:

「300選」はとにかく神がかり的テキストでした。本試験で出題された「居酒屋」もバッチリ網羅していたので心強かったです。

また2次対策用動画もかなり役立ちました。特に、「プレゼンというよりスピーチ。テーマは訪日観光客が関心をもつもの」という閃きの瞬間のお話は目からうろこで、なるほどと思いました。本試験でも、グリコのオマケを侮れないことを思い出して、プレゼンは訪日観光客につながる内容で締めくくりました。

(5)今後の抱負

資格を取ったら終わりではなく、やっと私たち合格者の使命は始まったばかりだと思っています。資格自体の存続危機やヤミガイド問題など、たくさん問題もある資格ですが、我々合格した者がこれからもスキルを磨き、高い意識をもって正しく行動することで通訳案内士業をよりよくできると思います。邪道は王道には勝てないと、私は信じています。

だからこれからもしっかりと学び、日本の素敵な面を外国から来たお客様にたくさん伝えていきたいです。

(6)通訳案内士を目指す方へ

皆さんは、ほとんどがお仕事をしながらのチャレンジだと思います。仕事をしながらですと、なかなか勉強のペース配分も難しく挫折しそうになりますが、ちょっとした隙間時間にCDを聴いたり、スマホで地図や時事項目を調べたりと、スタイルにこだわらず、少しずつでいいので何かしらやりつつけることが一番大事だと思います。塵も積もれば本当に山となります。

●(2-9)[中国語 / 埼玉県 / フリーランス翻訳者、中国語講師](メルマガ読者、教材利用者)

(1) 受験の動機

翻訳、通訳の仕事にプラスになる役立つ資格を取得したいと思ったこと。去年、長男が高校を受験しましたが、今後、子供と一緒に勉強したいと思ったことも受験の動機でした。

(2) 第一次試験対策

仕事や家事など以外の時間を利用して勉強しました。特に電車の中でスマホを使ってオンライン教材を勉強し、＜第1次邦文試験対策特訓 1800 題＞をやりました。

< 中国語 >

普段は翻訳の仕事をしていますので、あまりにも準備してなかったが、一応過去問を読みました。

< 一般常識 >

去年度(2012年)は準備不足で筆記試験で唯一不合格科目でした！

今回は勉強方法をやり直し、＜特訓 1800 題＞の他、「一般常識の最重要事項」と「マラソンセミナー」テキストも利用しました。

< 日本地理、日本歴史 >

外国人の私にとって一番苦手分野です。一回目でまぐれ合格しましたが、勉強方法は以下のようです。

過去問を徹底的に解くこと。小学校高学年向けの《社会科》教科書、中学年向けの《地図帳》を使用し、基礎から学びました。(子供達の使用済みの教科書を再利用しました！)

高校入試問題(国語、社会科)も一応目を通します。(長男のお蔭で、その時、山ほど持っていました！)

もちろんハローの教材＜日本地理の最重要事項のまとめ＞、＜日本歴史の最重要事項のまとめ＞と＜第1次邦文試験対策特訓 1800 題＞を利用しました。

< 日本地理の最重要事項のまとめ >

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/180b7d46638cb35e7332ae6bbc2f838c>

< 日本歴史の最重要事項のまとめ >

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/de13a21eeaaf21a717279ecf2cb08c7f>

< 第1次邦文試験対策特訓 1800 題 >

[http://www.hello.ac/streaming/clinic/clinic\\_houbun/index.html](http://www.hello.ac/streaming/clinic/clinic_houbun/index.html)

(3) 第二次試験対策

植山先生のご指導のお蔭でスムーズに口述試験準備ができました。「日本の事象英語説明 300 選」の内容を中国語で理解し、一人の場合は「一問一答」の形で自己練習をしました。植山先生

が主催した「口述試験対策セミナー」も参加しました。

(4) ハローのメルマガ、教材などで特に役立ったこと

抜群の出題予想的中率！植山先生のセミナーを受けて、心がもっと強くなりました！

一年目どうして筆記試験に不合格したのが、やはりハローの教材をメインに使ってなかったことがやっと分かりました。だから二年目の勉強は一年目の失敗を踏まえ、最適な教材(イコールハロー教材)を使って取り組みました。

(5) 今後の抱負

今年は中国語通訳案内士試験に無事合格しましたが、今年の夏、英語の試験にも受験する予定です。2020年の東京オリンピックを目指すことだけではなく、自分の人生はこれからもっと充実していきたいと思います。

植山先生、本当にありがとうございました！（謝謝植山老師！） \*(^o^)/\*

## ●7-2[中国語／愛知県](メルマガ読者)

### (1)受験の動機

日本のことを外国の旅行客に説明することに興味を持った。試験を乗り越えるだけの知識と努力と忍耐力を培って観光客の前にたつことにこそ意味があると思った。

### (2)1年目(独習時期)

独りで受験をしたので、ハロー通訳アカデミーのことを知らないまま受験。

#### <中国語>

一年目は法学書院の解説を読んでもわからなかった。対策はせずに受けました。(当時はHSK5級合格、中国語検定2級合格していました。中国語学習歴二年ちょっと)語彙もなく、どう答えを書くかもわかっていなかった状態でうけてしまいました。当然、不合格。

#### <日本地理>

基礎知識をいれた。おもに山や川、平野などをおさえ、県ごとの知識をその範囲でいれなおした。自分で白紙に都道府県の形をかくところからはじめてそこに山、川、平野を書き込んだりというところからの開始。これも8月1日から過去問みた。

実際受けてみたら、関東方面の地図の読み取りがでて、度肝を抜くとはこのことかと思った。聴かれていることは基礎的なことなので、きちんと地図記号や縮尺の問題を高校受験レベルでみればいいと感じた。

ここを大きく落としてもほかの問題でなんとかなったと思う。ぎりぎり日本地理合格。自己採点は64点ぐらい。6割程度が合格点なんだなと感じた。

#### <日本歴史>

山川出版社の用語集、資料集をつかった。大学受験のときの選択科目が日本史だったので使いなれていて信頼がおけたから。過去問をみたのは8月1日から。遅すぎたが何から手をつけていいかわからなくて先延ばしにしてしまった。

実際に問題をみたら、観光にかかわる観点から、過去問をふまえての出題だったと感じた。日本歴史合格。自己採点は84点ぐらい。

#### <一般常識>

過去問も見時間なくて、なにも準備せずに受けてしまった。前日ぎりぎりまで歴史と地理をみていたので、当日は一番最後の一般常識で一瞬寝てしまったほど準備が足りない状態だった。自己採点で40%ぐらいしか得点なかった。解きながらこれは駄目そうだとわかる感じ。不合格。

### (3)二年目(ハローのメールマガジン、テキストを見てからの受験)

毎日メールマガジンをみているのでずっとサボっているわけにいかない。独習といえどもこの環境づくりの点で大きく助かった。

### < 中国語 >

同年三月のHSK6級合格。HSKは大量の文を短時間に読ませる試験なのでその訓練をHSKの過去問でできていた。5級以上は縮写という書かせる試験があるので、その練習をしていたら、中国語作文もできるようになっていた気がする。過去問は法学書院のものを買ってできるだけ解いた。試験の傾向に頭がなじむのでできるだけ多くといてよかったと感じた。英語の資料も、見せていただけて参考になった。合格。

### < 一般常識 >

前年の受験をふまえて、自分なりに映画の興行成績など調べていったものの、役にたたない。。。毎年傾向を変えられていると感じた。

しかし、5年ぐらいをおおきくみれば、傾向というのはやはりあると感じる。できるだけ過去問を入手することをおすすめしたい。

外国人に説明を求められるようなこと、外国になく、日本独特のものは知っておく必要がある。数字が絡むものもそう。これはマラソンセミナーのものをベースにして自分で補っていった。短時間でまとめられるものとして、マラソンセミナーは欠かせない。合格。

### (4)第2次試験対策

・口述の段階での、自分の会話能力について。

中国語でなんとか用を足すことはできるだけ。買い物や飛行機の乗り換えのときに必要なことをいって通じる程度だった。中国語でのネイティブ同士の会話は聞いていても大筋の意味はわかっても、細かくわからない。世間話を続けるのに非常に努力をする段階。(まだ発音を調べながら教科書を声に出して読んでいる)今年も口述の練習として受けてこようと思って立命館大学の衣笠キャンパスまでうけにいった。ハローでおくっていただいた「300選」をみて、だいたいのまとめ方を頭に入れた。心強かった。

・口述の再現

### < 通訳の内容 >

「1967年に開通した東海道新幹線は世界最速の列車のひとつです。この先日本の8都市をつなぐ予定です」が通訳の問いの内容だった。

面接官が読み上げる問題を書き取るための紙がボードにはさんで鉛筆とともに横に置いてあり自由に使えました。

書き取って、即それを声に出して訳して行く経験は初めてといってもいいほどです。なにを答えたかもはっきり思い出せません。

### < 日本の伝統芸能について >

「日本の伝統芸能」「居酒屋」「東日本大震災の現状と復興について」

この3枚のカードからひとつテーマを選択してそれについてこたえるプレゼンテーションだった。テーマから中国語で訳すことを求められた。

「居酒屋」にしておけば

「昔はおじさんたちが居酒屋で仕事のあとにいっぱいやるのを楽しんでいた。現在は女性もおおく

利用しています。特徴は大衆的な値段ということで、味よりもその場でみんなと楽しむことを目的としています」といえるはず。

なのに、なぜか自分は日本の伝統芸能を選んでしまった。瞬間的に頭によぎった「歌舞伎」にとらわれてしまったからだ。「京劇と似ています」と話したところ

「それでは、日本の歌舞伎と京劇の違いなんですか？」

その知識がなく、私は「顔に書く模様が違います」としか言えなかった。その続きの言葉をまつ面接官のおふたりは沈黙におちいり、ひとりの面接官のネイティブの先生が親切があふれる表情で「別の日本の伝統芸能についてきかせてください」と助け船をだしてくれた。

そこでは「能です。能は禅宗の精神にもとづき、日本人のワビ・サビをあらわしています」と答えようとしたところ「わび・さび」のところでぐっとつまってしまった。

いまなら「わび・さび」といってからそのときはあがってしまって「根据禅宗的精神，表示日本的心情的安静・・・平安」。ここで「時間です」と遮られて終わった。

(これで答えなくていい！救われた思いだったことをここに告白)

自分のできる範囲で発音に気をつけながら答えたつもり。

自分でも(これ、悲惨～！)と答えるうちに悟っていていたのだが、最後まで答えることを投げなかった。

(唯一よかったと評価できるのならここしかないと思います。)

来年こそはとの決意を固めていた。休暇気分で合格発表までのんびりすることを楽しもうと思ってそうしていた。発表の時、自分の名前と番号を見つけた時は信じられなかった。

#### (5)最後に

自分ひとりの力ではない、周りのみなさん、メールマガジンで情報を惜しげもなくくださっている植山先生のみなさんのおかげと感謝しています。ありがとうございます。なにかできることがあれば手伝えてください。

●(6-3)[中国語／東京都／社会人](メルマガ読者、教材利用者)

(1)受験の動機

就職して中国語の翻訳及び通訳業務をして来ました。そのうち、仕事質を高めるために、辿り着いたのが通訳案内士でした。外国人ですので、日本地理、歴史、一般常識の内容は至難の事でした。ネットを利用して、呼び方からコツコツと勉強を始めました。合格して、初めて苦勞の甲斐があった、そして自信を持つようになりました。

(2)第一次試験対策

最初に過去問題集を中心に、観光日本地理と日本文化・外交小史(日本観光通訳協会出版)勉強しましたが、一年目は言語以外不合格でした。

二年目は、中学生の地理、歴史、地図(中学生からテキストを借りました)及び最高水準問題集の地理、歴史と一般常識(すべて書店より)、通訳ガイド地理・歴史一般常識完全対策(法学書院)などを利用しました。歴史以外不合格でした。

三年目は、上記の本に加えて、ネットで各県を検索しての地理の勉強とネットニューストピックスで勉強しました。三年目で合格を果たしました。

(一次試験の時、ハローアカデミを知りませんでした、今振り替えて見るとたいぶ損をしたのと思います。)

(3)第二次試験対策

ハローのメルマガと「日本の事象英文説明 300 選」とセミナーをメインに勉強しました。またネットも利用しました。

(4)ハローで役に立ったこと

「300 選」とメルマガは大変役に立ちました。

(5)今後の抱負

厳しい現状を植山先生から教えて頂いて、少し落胆しましたが、せつかく取得した資格を無駄にならないよう、頑張ってガイドになり、外国人の視点から日本の良さを外国人に伝えて、微力ながら親善大使のような役割をしたいと思います。

## <フランス語>

### ●4-4[フランス語／神奈川県](メルマガ読者)

#### (1)受験の動機

1980年代前半に英検1級、ついで英語ガイド資格を取得後、十数年前仏検1級に合格し「いずれはフランス語ガイドも」と、漠然と望みつつも強く決心するに至りませんでした。昨2013年より仏検一級取得者は筆記試験免除と知り、口頭試験だけで済むので思い立ちました。

実に30年ぶり、60代半での受験となりました。当時とは試験の形式を含め全てがかなり変わっていましたが歴史ある、信頼のおけるハローの情報のおかげでその間のブランクを埋めることができました。

#### (2)第1次試験対策

免除につき省略

#### (3)第2次試験対策:

結論から言うと「日本の事象英文説明300選」の仏語版を土台として2分のスピーチを作ることだと思います。30年前の英語受験の際も似たような教材を使いましたが、今回は願書提出時点では「300選」の存在を知らず、暗中模索で以下の参考書を用いました。統計数値が古いものはできるだけ新しいデータを探しました。

「フランス人が日本人によく聞く100の質問」“Cent questions sur le Japon”(三修社)

“Profile d’une nation”(講談社)

“Tout sur le Japon”(講談社インターナショナル)

“Le Japon d’aujourd’hui”

以上4冊は前々から何となく手元にあったものの真剣に読む気も起こらず、ただざっとページを繰っていただけだったので、今回初めて真正面から向き合うことになりました。又、どなたかの受験体験記の中で「Michelinの“Le Guide Vert－Japon”が良い」と読み、最新2013年版を購入しました。

ここまで読むと仏語受験を考えていらっしゃる方はその量の多さに戦意喪失されるかも知れませんが心配ご無用です。

始めから終わりまで目は通しましたが、[試験に出そうもない]部分は無視し(詳しすぎる説明は不要)、重要と思われる項目を抜き出し、話すと2分くらいに収まる自分なりのノートを作りました。全部PC上での作文ですが、以前USBメモリーが全滅してしまった苦い経験があるので、文を完成させていく過程で毎回こまめにバックアップを取りました。

上記方法を続けているうちに「Wikipediaの仏語版が役に立つ」と知らされ、それ以後は大いに活



用しました。偶に中身に首をかしげる記述もありましたが、key word を中心に内容を取捨選択して2分に収める原則を重視しました。時間はかかりましたが、自分で考えた文章は借物ではないので頭に入りやすく、声に出して喋る練習で記憶定着を図りました。

その後、ハローの「日本的事象英文説明 300 選」が無料で頂ける幸運に恵まれ、主だった項目の仏訳を試みました。

よく遭遇することですが、要注意なのは[faux ami](類形異義語、英仏似ていても意味が違う単語)と[英語にはあるが仏語にはない単語]です。

恥ずかしながら私には[物事をずるずる先延ばしにする]悪い癖があるのですが、[名詞 procrastination は英仏両方にあるが動詞 procrastinate は英語のみで、いかにもありそうな procrastiner という動詞は仏語にはない]ことを、悪癖のせいで怠けて調べず、最近まで気付きませんでした。

上記のような疑問が生じた場合に役立ったのが英仏辞典(これも手元にあった)ですが、今は電子辞書などで簡単に調べられるのでしょ。

先生が幾度も強調されていますが、二次試験対策は[日本事象を簡潔に述べる]練習を徹底することに尽きます。通訳問題もそれに関連した事柄が出されるので、別々に分けるのではなく同時並行で準備するのが合理的ではないでしょうか。時事問題対策にはNHKワールドの仏語ニュースを聞き、読むのが効果的ですが、私は間口を広げる余裕がありませんでした。

実際の受験後痛感したのは[時間との勝負]です。通訳問題は日本語文を聞き終わったらすぐに訳し始めなくてはなりません。

スピーチでも、3つの主題が書かれた問題用紙を渡されたら即座に選択せねばなりません。考える時間は極く僅かしか与えられないので選んだら反射的に口をついて出てくるのが理想です。私はそれが出来たわけでは決してなく、同じことを2度繰り返したり、前後の脈絡がおかしいのに気付いて言い直したり、貴重な時間を浪費してしまい、用意した内容を言い尽くせずに時間切れになりました。

日本人女性試験官は受験者の緊張を和らげようとこやかな話しぶりでしたが、仏人男性試験官は全く表情を変えず「時間です」「終わりです」と淡々と告げるだけで、尻切れトンボになった答が心残りなまま退席せざるを得ませんでした。後から他の皆さんの受験体験記を読むと似たような結果に終わった方々もいることがわかり、少し気が楽になりました。

矛盾するようですが、私を助けてくれたのも時間です。今回[仏検一級取得者は筆記免除](いつ発表になったか存じませんが)を偶然知り、「それなら」と背中を押されたのが5月頃で、幸運なことに約半年の準備期間が確保できたのです。若い方なら効率よく短期決戦でも臨めるのですが、記憶力、体力、気力の低下を日常否応なく思い知らされる60代半では、それらの弱点を時間(日数)が補ってくれました。

計画通り勉強が進まなくて行き詰ったり、意欲が湧かなかったり、諸々言訳には事欠きませんが、それでも「まだ〇〇日ある」と希望兼自己甘やかしてやり過ごせたのも、時間(日数)の余裕があればこそでした。そんな時、恰もこちらの気持を見透かすかのように絶妙のタイミングで先生から(叱咤)激励のメッセージが入り、怠け心を覚醒されたものです。

#### (4)ハローのメルマガ、教材などで特に役に立ったこと

既に多くの合格者が異口同音に述べておられることの繰返しになりますが、至れり尽くせりのご指導、ご支援に深く感謝しております。

私自身はフランス語受験なのでお世話にはなりませんでしたが、ハローの教材は近年話題のMOOCS(Massive Open On-line Courses)の先駆けではないでしょうか。

試験に関する包括的で詳細で有益な最新情報を、温かい励ましのメッセージを添えて日々お送り下さり、先生の moral support が自宅独習者にとっては大きな心の支えとなりました。改めて御礼申し上げます。

又、9月の第二次口述試験対策特別セミナー、11月の植山周一郎様特別講演会にも参加できましたが、このような機会を設けて頂き、志を同じくする方々との緊張感を伴う一体意識を分か合いながら、試験会場の雰囲気を実験的に事前に味わうことができ本番で役立ちました。

#### (5)今後の抱負

具体的な計画はこれからですが、サンプル文を拝借するのをお許し願いますと「外国人のお客様に日本文化を楽しく、正確に伝えられるようにしたい」「日本の観光を取り巻くさまざまな問題にもアンテナをはって、さまざまな問題の解決に少しでも関わることができればうれしい」心境です。

同時に、先生がご指摘の由々しき問題についても現実には現実として冷静に認識する必要があると思います。

短期間に複数語合格の快挙を達成される方もおられる中、超スローペースな歩みを記した拙文が聊かなりとも[鶴の恩返し]になれば幸いです。

## ●4-2[フランス語／埼玉県／フリーランス](メルマガ読者・教材購入)

### (1)受験の動機

職場の上司や友人が資格を取得したという話を聞き、仕事に生かす機会があるかも知れないので、数年前から関心を持っており、その際に様々な教材だけ購入していたのですが、ほぼ手つかず状態になっていました。その中途半端な状態から脱すべく、時間に余裕ができた昨年末くらいから受験に向けて勉強を始めました。

### (2)第1次試験対策

#### <外国語>

(フランス語検定1級に合格していたので免除でした。)

#### <日本地理>

地理はなんとなく関心はあるものの、国内を旅行した経験もあまりなく、基本的な事項(都道府県の位置や河川・山脈の名など)も怪しい状態でした。

マラソンセミナーのDVDを見て、項目別地図帳なども活用しつつ、繰り返し地名の書き取りを試みたり、地図を自分で書いてみたり、ととにかく覚えようと試みましたが、(が、年齢のせいもあり、すんなりとはいきませんでした。。)マラソンセミナーの説明はとて分かりやすかったです。

#### <日本歴史>

高校時代に日本史の授業をとっておらず、本当に分からない、知らないことだらけでした。いまでも怪しいので、引き続きマラソンセミナーのDVDを見て、復習したいくらいです。セミナーでは講師の話術もあってか、印象に残ったエピソードもいくつかあり、歴史に興味を持つきっかけにもなりました。

#### <一般常識>

あまりに範囲が広そうな科目で勉強の仕方が分からなかったのですが、これもマラソンセミナーにお世話になりました。おかげさまで、今では、普段から新聞、ニュースに関心を持つようになったと思います。(以前からこうした姿勢でニュースに接していれば苦労せずに済んだのですがね、、、)

### (3)第2次試験対策

ハローの皆さんの合格体験記を読んで、「日本の事象英文説明 300 選」だけで大丈夫!という言葉に信じて、とりあえず、フランス語に訳すことから始めました。

この作業でいかに自分にポキャブラリーがないか、日本についての知識がないか、を痛感しました。そして、なかなかすべてを暗記とまではいかず、いくつか前に進んでは、また戻り、、、というなかなか苦しい日が続きました。

もっと前からやっておけばよかった、、、と後悔ばかりでしたが、少しでも身につけていることを信じて訳しては暗唱してみる、という作業を繰り返しました。

#### (4)ハローのメルマガ、教材などで特に役に立ったこと

マラソンセミナーのポイントを絞った内容、知識が豊富な講師たちの講義が、知識がゼロに近い自分には大変役に立ちました。

また、試験日に向けて配信される各教科の重要事項のまとめや試験の当日の心構えなど、メルマガには試験の勉強自体に助かれることはもちろん多かったです、精神的な支えにもなったと思います。

#### (5)今後の抱負

新合格者講習会にもうかがいたかったのですが、残念ながら都合が悪いので、公開されている資料を参考にさせていただきつつ、早めに登録し、できれば各団体が実施している研修に参加の上、徐々に仕事につなげられるように頑張りたいと思います。

また、試験には合格したものの、全体的に(外国語+日本について)知識がまだまだ足りないという自覚があるので、少しずつでも強化できるようにしたいと考えています。その点、引き続き、メルマガにお世話になることと思いますので何卒よろしく申し上げます。

## <イタリア語>

### ●5-8[イタリア語／神奈川県](メルマガ読者)

#### (1)受験の動機

今までもホームステイ受け入れなど海外からの方を観光に案内することがありましたが、日常会話レベルでは相手の知的好奇心を満たすような案内はできず、ふがいない気持ちでいました。ひよんなことから、英語で通訳案内士の資格を取った方と知り合い、熱意をもって応援していただき、その方の使われた資料を頂くなどするうちに自分もやってみようという気になりました。

#### (2)第1次試験対策

##### <イタリア語>

中古の「通訳ガイドイタリア語過去問解説(平成22年度問題集)」(法学書院)をアマゾンで購入。最新版ではなかったかもしれませんが、とにかく始めることだと考え、最近の年度から順に取り組みました。と言っても、二周するというほどはできず、一周できたかできないかくらいでした。字数制限のあるものは、原稿用紙を買ってかならずその字数に埋まるようにしました。とにかく、書いて、書いて、書きまくって勉強していたように思います。

学習時間があまりとれない自分には、いかに効率よく得点するかだと思い、邪道だとは思いましたが、単語の暗記はあえてあまり時間をさかず、読解力、回答力の底上げを目下の目標としました。それまで試験と言えばイタリア語の検定試験のような、日本語を介さない試験を目標としていた勉強から、通訳ガイド試験では日本語から、または日本語への訳に勉強内容を切り替えることになり最初は戸惑いましたが、反復することで次第に和訳伊訳に自信ができました。

##### <日本地理>

「マラソンセミナー」、「最重要事項のまとめ」、<特訓 1800 題>。帝国書院「旅に出たくなる地図」。

ハローのメルマガで、各都道府県のポイントが毎日少しずつ送っていただいたものは特にペースをつかんで勉強するにはとてもよく、ありがたかったです。簡潔にまとめられた内容を地図を見ながら確認しました。覚えられないものを重点的に単語カードに書き、電車に乗っているとき、寝る前など隙間の時間に繰り返し覚えました。

##### <日本歴史>

「マラソンセミナー」、「最重要事項のまとめ」、<特訓 1800 題>。東京書籍「ビジュアルワイド図説日本史」。山川書房「詳説日本史」

日本史は好きなので頭に入りやすく勉強も楽でしたが、この試験は何せ細かいところまで全部覚えなければならないので、人名や、芸術作品との結びつけなどは、その項目ごとにカードに書いてまとめ、何度も紙に書いて覚えました。地理と同じく覚えられないものは単語カードに書いて覚えました。

### <一般常識>

一年目は、撃沈といった感じでした。地理と歴史で結果的に、そこそこ、点数がとれていたのもっと最初から一般常識に時間を割いておけばよかったと思いました。

使用したのはハローの「マラソンセミナー」、「最重要事項のまとめ」、<特訓 1800 題>。

日経新聞の土曜版に挟まれているニュースクールという子供向けニュース解説。NHK「トラッドジャパン」を録画したもの。

でも、基本はなんといってもマラソンセミナーで、チェックペンでいたるところを塗りつぶし、さらに書いて覚えました。「最重要事項のまとめ」に出てきた数字などはA4の紙にマジックで書いて台所やトイレに貼りつけてひまさえあれば唱えて覚えました。

今年度の試験前は、マラソンセミナーの項目ごとに、内容を何回も書きながら覚えました。すると全体の流れや、今日のニュースとのつながりがつかめてきました。この感覚をつかめた自信が試験当日自分が細かくは覚えていなかった内容も、類推で正解させてくれたと思っています。

### (3)第2次試験対策

バイブルは何と言っても、「日本の事象英文説明 300 選」と植山先生の予想問題です。が、「300 選」は恥ずかしながら一次試験が終わってからやっとイタリア語に訳して行く作業をはじめたので、全部を訳し覚えるまで到達できませんでした。

しかし、予想問題は昨年度のメルマガ掲載分から少しずつ伊訳していました。訳を繰り返していったことで、とっさの訳も前よりかなりスムーズにできるようになりました。また自分なりにコツと思える熟語や言い回しなどはノートに書きだしていつて覚えました。

試験直前は、とにかく一人でしゃべりました。声に出すと耳からも入ってくるのでとても良いのだと思います。イタリア語脳になっていき当日まで良いコンディションでもって行けたと思います。

通訳実技については、練習の指針がなかなかたたなかったのですが、植山先生の「二次試験対策講座の動画」を見て、最後の一か月くらいはニュースの時間、一日一回はテレビの前に座って白い紙にニュースの情報を記号で書き留める練習をしました。

そしてイタリア語訳を試みました。でも、自分の受験準備全体の中ではもっとも割いた時間が少なく自信が持てるレベルまでは取り組めませんでした。試験当日もやはり通訳実技では訳し間違えてしまい、得点は低かったと思っています。この点を振り返っても、通訳ガイド試験では「ここまでやった」という自信がつくまでの勉強量は必要なのだと思います。

### (4)ハローで特に役に立ったこと

メルマガがとても役に立ちました。先生のお言葉の一つ一つに励まされ、ほかにもたくさんがんばっている仲間がいるのだと感じられました。

そしてセミナーは、とくに二次試験対策を動画にて拝聴し、大変参考になりました。通訳実技が今年度はじめて盛り込まれていたのが当初不安でしたが、セミナーを受けて落ち着いて勉強に取り

組めたと思います。マラソンセミナーのテキストはバイブルです。これを覚えていけば大丈夫だと思います。

また、合格後の講習会も基本の「き」からの内容で、本当に助かりました。こんなに優れたセミナーや教材の数々を無料で提供して頂けて、主婦という身分の自分には本当にありがたかったです。植山先生には心から感謝しております。ありがとうございました。

#### (5)今後の抱負

イタリア語という希少言語では資格の活用機会も少ないと思われるので、勉強中のスペイン語でも将来的には資格取得できるように準備したいと思います。

通訳ガイドは日々知識を習得しなければならない仕事だと思います。努力を怠らず、自信をもってゲストをおもてなしできるように、さらなる鍛錬を重ねていきたいと思っています。

また再三植山先生から解説いただいた業界を取り巻く環境に鑑み、自分自身が優秀でなければならないことを肝に銘じこれからも精進していきたいと思っています。植山先生、本当にありがとうございました！

## <ポルトガル語>

### ●(2-4)[ポルトガル語／東京都／翻訳、通訳](メルマガ読者、教材利用者)

#### (1)受験の動機

団塊世代ですので、今さらなのですが昔より気になっていた試験であったこと。難関であることで知られていたのではどれだけできるか挑戦する気になったこと。また語学の勉強に夢中になりお膝元の日本の歴史、地理、文化等の知識に乏しく、外国人と接するたびその知識不足を実感することが多く、一度しっかり基礎から勉強してみたいと思ったこと。

#### (2)第1次試験対策

##### <ポルトガル語>

どの程度のレベルか過去問を3, 4年位分実際にやってみました。問題は単語力だと思ったので(実際に単語の問題は10問くらい必ず出題されます。)

試験前にメルマガで送られてくる単語の問題もできるだけ調べましたが、英語のように良い辞書がないのでピッタリした単語が見つからなかったり、自分の考えるものでよいのかどうかという不安が残りました。購入した過去問題集はすべて正解がのっているのでそれはしっかり覚える努力をしました。それでもかなりの数になります。

##### <日本地理>

メルマガで無料ダウンロードした教材と<第1次邦文試験対策特訓1800題>、過去問で勉強しました。

まずダウンロードした教材を地図で場所を確認しながら一度精読しました。全くなにも知っていなかったことが判明しかなりあせりましたが集中して覚えながら読んでいきました。当然これだけではすぐ忘れてしまいます。

<特訓1800題>を何度も繰り返し、そのたびに教科書へもどり白地図で場所の確認をしながら覚えなおしました。何回繰り返したかわからないほどです。本当の地図帳は場所を見つけるのが大変で時間ばかりかかります。ハローの白地図はすべて項目ごとにわかれており、場所を確認するのに最適で本当に役にたちました。

とにかく覚えるまで何回も繰り返し見ました。名前だけは知っているさまざまな場所を地図で位置を確認するのは楽しい作業でもありましたしやっと人並みの知識を得ているんだと思いつつ興味をもって勉強しました。

また試験が近づいてくると送られてくるメルマガでの予想問題も毎日必ずチェックし教科書、白地図で再確認しました。これは日課にすることを勧めます。全体でかなりの量になりますし、ためると大変です。最近では地図の記号を問う問題が出てくるのでそれも事前にチェックしておきました。



### <第1次邦文試験対策特訓 1800 題>

[http://www.hello.ac/streaming/clinic/clinic\\_houbun/index.html](http://www.hello.ac/streaming/clinic/clinic_houbun/index.html)

#### <日本歴史>

全く地理同様、過去問、メルマガ無料ダウンロード教材、<特訓 1800 題>、事前に送られてくる予想問題を使い勉強しました。山川の教科書も通読しました。山川の教科書は写真が多く掲載されているのと歴史の流れを知るにはよかったです。

毎年、文化の問題が必ず写真つきで出題されます。メルマガ無料教材の文化分野はよく整理されているのでそこに出てくるすべての仏像、建築物の写真をA4 にコピーして一緒に覚えました。コピー元は山川の教科書とネットの各サイトからとりました。13 年度出題の都久夫須麻神社はメルマガ教材にあり、山川にはのっていませんでしたがこうして写真添付で覚えていたので”やった”と思いました。

#### <一般常識>

これが一番どうして勉強をしたらいいのか悩む科目です。過去問で傾向を知り、基礎的なことで知らないことをメルマガ教材で勉強しました。それでも一般常識は日々変わっていくものなのでメルマガの無料ダウンロード教材も多少話題が古くなってきていることは否めません。

メルマガで試験前になると送られてくる植山先生の予想問題は必見です。かなりの確率でいくつか出題されます。また新聞、ニュースの文化、観光に関する記事等は常に気にかけておりました。

また観光客数とか観光客数の国別順位とかは大変頻度の高い問題なのでチェックが必要です。(これらは植山先生のメルマガに載ってきますが。)

#### <一般常識の最重要事項のまとめ>

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/9dcd51160b7da52b7e98c929af7d60e3>

### (3)第2次試験対策

まずは「日本の事象英文説明 300 選」をすべてポルトガル語に訳してみました。自分で訳しているのですから格調は低く、こんな訳でいいのかなと思いながら訳しているのでいさかきいやになるのですが模範解答がないのですから仕方ありません。(英語以外の語学の人々の共通の悩みではないでしょうか?)それでも英語-ポ語の辞書(サイト上の)をひきまくり、ノートしました。なかなかぴったりくる言葉が見つからないこともしばしばで苦労しましたがこの作業でかなりの単語を知ることができました。これは大きな収穫でした。

それから植山先生のセミナーで提示された予想問題、メルマガで来る予想問題を実際にポルトガル語にしてみました。問題は何を語るかでしたが回答にはハローの”英語第2次試験対策特訓セミナーの Answer 編 ”を参照したりネットで調べたりしました。植山先生の予想問題のうち 20 位を選びスピーチをポルトガル語で準備しました。

そして暗記し 2 分で言えるよう練習しました。準備しなかった予想問題に対しても頭の中で回答を作ってみました。その準備した 20 位のスピーチをすべてに 응용できるという確信をもちました。

(先生の予想はピッタリとあたりました。)

ただし 20 をすべて暗記するのは難しく思い出すことに重きがかかってしまいスピーチがとまってしまうので半分以上は言うべき内容だけを頭にしっかり入れておきました。話す内容さえもっていればあとはなんとかかなると思いましたが。

<2013 年度第 2 次口述試験のまとめ>

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/1c31825f6865f52eb915393e015744f2>

(4)ハローで特に役に立ったこと(セミナー、メルマガ、教材など)

ハローの教材はこの道 30 年余の経験から打ち出されたものであり、これ以上の教材はないと思います。おかげでガイド試験用の非常に効率の良い勉強ができました。

だいたいこれでよしと準備が整った頃つついだらけてしまいそうになっていました。ところが植山先生のメルマガによる連日の叱咤激励にてこれではいけないとねじを巻き直して最後にもう一度復習をしました。この最後の追い込みで、記憶がフレッシュになり大変効果的であったと思います。

(5)今後の抱負

試験合格でガイドになれるかという単に資格をもらっただけです。本格的なガイドになるにはこれからかなりの研鑽を積みねばならず年齢的に無理があるかなと思っていますが外国から訪れる友人もおりに個人的に日本を今までよりずっとよく説明できそうで嬉しいです。また多少、翻訳、通訳などもしておりますのでそちらのレベルアップにつなげられそうです。